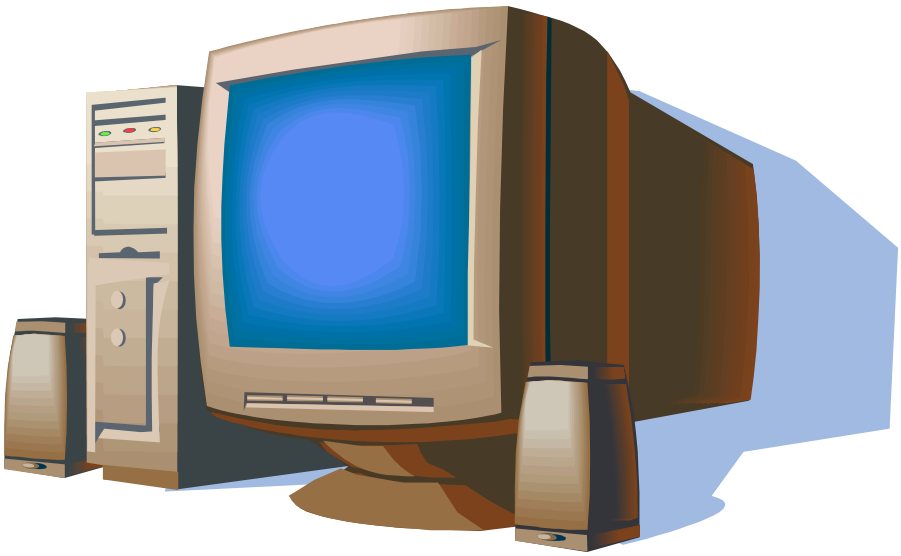
小・中学校における「情報モラル」学習指導資料集



子どもたちのインターネット等の「活用指針」検討プロジェクト

京都市教育委員会

この指導資料集の作成にあたり，下記の文献やホームページ等を参考にさせていただきました。
誠にありがとうございました。

参考文献等

参考文献等	発行所等
こどもを守る　ネット・ケータイ危険予防マニュアル	株式会社　九天社
アスキーデジタル用語辞典	株式会社　アスキー
インターネット活用ガイドブック	財団法人　コンピュータ教育開発センター
インターネット活用のための「情報モラル指導事例集」	財団法人　コンピュータ教育開発センター
(C)2001 IPA,CEC　Eスクエア・プロジェクト「ネット社会の歩き方」 http://www.cec.or.jp/net-walk/	財団法人　コンピュータ教育開発センター 独立行政法人　情報処理振興機構
「迷惑メールを受け取ったら」 http://www.jaipa.or.jp/UCE/index.html	社団法人 日本インターネットプロバイダー協会
インターネットを利用する方のためのルール＆マナー集 http://www.iajapan.org/rule/	財団法人　インターネット協会
セキュリティファーストガイド http://www.nifty.com/security/guide/basic/index.htm	@nifty

目　次

小学校

小学校「情報モラル」学習　年間指導計画案・指導案について
指導内容一覧
各学年指導案・指導資料
　・1年生
　・2年生
　・3年生
　・4年生
　・5年生
　・6年生
参考資料

中学校

中学校「情報モラル」学習　年間指導計画・指導案について
指導内容一覧
各領域指導案・指導資料
　・電子メール編
　・電子掲示板・チャット編
　・WEBページ編
　・ネット売買編

小学校「情報モラル」学習　年間指導計画案・指導案について

□すべての人がインターネットを楽しく安心して利用するために

インターネットはたいへん便利で，私たちの生活になくてはならないものになっています。しかし，注意して使わないと思わぬトラブルにまきこまれる可能性があるのも現状です。

そこで，すべての人がインターネットを楽しく安心して利用するために，利用者それぞれが「情報モラル」を身につける必要があります。この情報モラルは，日常生活のモラルで大切にされていることと共通点が多く，「人のいやがることはしない」「人のものを勝手に使わない」といった当たり前のルールやマナーにも通じるものです。ただし，高度に発達したネットワーク社会では，悪意をもってメールを配信したり，架空の人物になりすまして個人情報を得ようとしたりする行為が存在するため，対処するためにはインターネットに関する特有の知識が必要な場合があります。このようなケースに対応するために，情報モラルの学習を進めるにあたっては，日常生活での様々な場面を想定し，具体的な問題を例示しながら学習をすすめることが大切です。そして，「こういうことをすればどうなるのだろうか。」のように，「少し先の自分の姿」をイメージしていきながら，系統的な指導を進めていく必要があると考えています。

□インターネット活用を中心に，年4回，1回あたり25分で

本指導計画案では，インターネットを活用した交流活動場面に主眼におき，各学年の発達段階を考慮しながら年４回の情報モラルに関する指導事項を選定しました。教科の学習時間内に限らず，必要に応じて朝の会や休み時間にも指導できるように，それぞれの指導時間は１回あたり２５分を想定しました。また，指導計画一覧表を活用して頂くことにより，子どもたちの実態に合わせたタイムリーな指導とともに，小学校６年間を見通した系統的な指導も可能になるのではないかと考えています。

□「人権を大切にする」という視点を

情報モラルの学習をすすめるにあたって大切にしたい視点が２つあります。

１つ目は，「相手の人権を大切にする」という視点です。（指導計画案では４月・１２月の内容です。）電子掲示板への書き込みや電子メールには必ず「情報の受け手」がいます。情報を発信する際に「これを受け取った人はどんな気持ちになるだろうか。」のように，コンピュータの向こうに存在する人の気持ちや生き方，心を思いやりながら交流することのできる子どもになってほしいと願っています。相手の人権を意識し，画面の向こうにいる相手を思いやりながら互いに交流を進めることができれば，安心して利用できるインターネットになるにちがいありません。

２つ目は，「自分の人権を大切にする」という視点です。（指導計画案では７月・２月の内容です。）残念なことですが，現在のインターネットの世界では，ウィルスの配布や悪質なメール送信，詐欺行為等が存在するために，自分の身は自分で守ることが原則となります。そのために，興味本位のダウンロードや安易なメールの返信が危険な行為であることを認識しなければなりません。そして，目の前にある情報が自分にとって必要な情報なのか判断したり，自分の生き方に問いかけたりしながら，インターネットを利用していく力が必要になります。

以上のように，すべての人がインターネットを安心して利用するためには，一人一人が「相手の人権を大切にする」「自分の人権を大切にする」という視点でネットワーク社会に参加することが求められます。子どもたちが常に「人権」という視点を意識しながら，よりよいインターネット利用を進めてくれることを願っています。

□子どもとともに学び合う姿勢を

また，指導案の中では，インターネット上のトラブルに巻き込まれないようにするためにどうすればよいかという点に加えて，トラブルになったときにどのように対処すればいいのか，具体的な方法についても明示するようにしました。特に困ったときには一人で悩むことなく，先生やおうちの方々と協力して解決することが大切であるという方向性を提示しました。インターネットの普及に伴い，小学校においても，私たち大人以上にコンピュータの知識や技能を身につけている子どもがたくさんいます。大人の知らない世界で，情報を送受信したりコミュニケーションを取り合ったりしている場合も少なくありません。その意味で，私たち大人が，目の前の子どもたちの実態をしっかりとつかむためのアンテナを高くしながら，タイムリーな話題を通して子ども達とともに学び合うことが大切であると考えています。

本指導計画案・指導案が各校での指導の参考となり，ご活用いただければ幸いです。

小学校 「情報モラル」学習 指導内容一覧

青色欄は，主に相手を「守る」「大切にする」視点から作成

黄色欄は，主に自分を「守る」「大切にする」視点から作成

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4月	コンピュータをみんながきもちよくつかうために，どんなことをたいせつにしたらいいのでしょうか。	インターネットをつかって見ることのできるしゃしんや文には，どんな気もちがこめられているのでしょうか。	インターネットを使って見ることのできる写真や文を使うとき，どんな使い方をすれば作った人がうれしい気持ちになるのでしょうか。	電子メールを送るときには，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。	インターネットを使って交流するときには，どんなことを大切にすればいいのでしょうか。	インターネットを使って交流するときには，どんなことを大切にすればいいのでしょうか。
	コンピュータの使い方　マナー	**著作権　写真や絵**	**著作権　勝手な改変の禁止**	**電子メール　わかりやすい内容**	**楽しい交流　ネット社会の特性**	**楽しい交流　「書き言葉」中心**
(25分)	一人一人が，「次に使う人の気持ち」を考えて使うことが大切であることを知り，みんなが気持ちよくコンピュータを使うことができるようにするためにどうすればよいのかについて考える。	インターネットから取り入れた絵や写真を勝手に変えたり、勝手に使ったりすることで，いやな気持ちになってしまう人がいるかもしれないことを知り，よりよい使い方を考える。	インターネット上に公開されているものには，すべて著作権があることを知り，著作権を守ることは，著作者の人権を守ることにつながることを考える。	電子メールは送信ボタンをクリックすると二度と取り返せないことを知り，相手がこの電子メールをもらっていやな思いをしないか，意味は伝わるか，という2点で見直すことが大切であることを考える。	電子掲示板やチャットなど匿名で参加できるネット社会の特性を知り，簡単にできる「なりすまし」がどれほど人の気持ちを傷つけるものになるか，考える。	電子掲示板やチャットでもし誤解が生じたときは，会える友達なら直接あって話をすることが大切であることを知り，「書き言葉」で気持ちを伝えるときに大切にすることは何かについて考える。
7月	コンピュータをつかうとき，どうしてパスワードをたいせつにするのでしょうか。	インターネットのじょうほうは，すべて正しいじょうほうなのでしょうか。	インターネットで学習をするときには，どんなことを大切にして調べたらいいのでしょうか。	インターネットの情報は，すべて正しい情報なのでしょうか。	自分に関係のない電子メールがきたときには，どうしたらいいのでしょうか。	インターネットの情報が正しいかどうか，「自分で判断」するために，どんなことを大切にすればいいのだろうか。
	セキュリティ　パスワードの役目	**情報選択　真偽の確かめ**	**情報選択　検索のめあて**	**情報選択　うのみの危険性**	**電子メール　返信の仕方**	**情報選択　正しい判断**
(25分)	ネットワーク社会の一員としてパスワードが大切な役目をもっていることを知り，パスワードの正しい扱い方について考える。	インターネットに公開されている情報の一部には，正しくない情報もあるということをいくつかの例示によって知り，「ほんとうかな？」とたちどまることの大切さについて考える。	インターネットを使って検索する際，いろいろなページに目がいきがちだが，自分がほしい情報を，めあてをもって検索することが自分の学習を進める上で大切であることを知り，よりよい使い方を考える。	インターネット上の情報にすぐに反応することは決してよいことばかりではないことを知り，だれが，何のために情報を発信しているのかをたちどまって考えることの大切さや，情報をうのみすることの危険性について考える。	安易な電子メールの返信は，個人情報が漏れることにつながることを知り，自分を守るために，差出人のわからない電子メールは基本的に破棄・無視することが必要であることの意味について考える。	様々なインターネットからの情報を正しく判断するときに謙虚な気持ちと思いやりの心が大切であることを知り，情報をバランスよく正確に判断するために，どんなことを大切にすればいいのかを考える。
12月	みんなのさくひんにはどんないいところがあるのでしょうか。	けいじ板やでんしメールで，気もちのよい書き方はどれでしょうか。	インターネットで友だちと楽しくこうりゅうするために，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。	インターネットで交流しているとき，見ている人が楽しい気持ちになるには，どんな書き込みをすればいいのでしょうか。	すてきなホームページをつくるには，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。	すてきなメールを作るには，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。
	著作権　よいところみつけ	**楽しい交流　文字中心の世界**	**楽しい交流　責任ある態度**	**楽しい交流　第三者の閲覧**	**情報発信　ホームページ作成**	**情報発信　電子メールのマナー**
(25分)	一人一人の作品は，同じものがないことを知り，友達の作品のいいところを見つながら，それぞれの作品に込められた願いや思いについて考える。	電子掲示板や電子メールは，「文字」が中心の世界であることを知り，だれがみても気持ちのよい内容であることが大切であることを，よい見本を見せながら考える。	電子掲示板やチャットでは，ハンドルネームで参加していても嘘を書き込んではいけないことや，間違って送信した場合は，まずは訂正の文を送ることが大切であることを知り，責任ある使い方について考える。	電子掲示板やチャットは，第三者も簡単にみることができることを知り，何気ない悪口やうっぷん晴らしが大きくなっていく可能性や思わぬ方向へ発展してしまう危険性があることについて考える。	インターネットで情報を発信するときは，だれが見ても気持ちのよい情報や正しい情報の掲載が大切であることを知り，責任をもって情報発信できるように大切にしたいことについて考える。	電子メールで文字を使うときは，声や表情が伝わらないので，話したい内容が正しく伝わるようにていねいな言葉遣いをするよう十分に注意する必要があることを知り，発信する前に必ず見直すことの大切さについて考える。
2月	コンピュータをつかっていてこまったときは，どうすればいいのでしょうか。	インターネットで学習をするときには，どんなじょうほうをさがせばいいのでしょうか。	インターネット上で名前などをしつもんされたとき，なんでもすぐに答えることは，いいことなのでしょうか。	インターネットでは，なんでもすぐにダウンロードをしてもいいのでしょうか。	インターネットを興味本位で使うことは，どんな危険な可能性につながるのでしょうか。	どんなことを大切にしてコンピュータを利用したらいいのでしょうか。
	コンピュータの使い方　安心	**情報選択　検索のめあて**	**個人情報保護　安全**	**セキュリティ　ウィルス**	**情報選択　危険性**	**コンピュータの使い方　悪影響**
(25分)	コンピュータを使っていて困ったときに自分一人で悩むことなく，大人といっしょに安心して学習を進めていくことができることを知り，みんなで安心してコンピュータを使うために大切にしたいことについて考える。	インターネットを使うときは，TPOに応じて自分自身で選ぶことが自分の学習を進める上で大切であることを例示を通して知り，学習の時間にどんな情報を探していけばいいのか考える。	個人情報の収集だけを目的にするようなホームページがあることを知り，安易にアンケートに答えたり，電話番号を書き込んだりするなどの個人情報を漏らさないことが自分を守ることにつながることを考える。	安易にゲームファイルのダウンロードを行ったり，興味本位で添付ファイルを開けたりする行為が，ネットワークそのものを壊す可能性があることを知り，ウィルス被害に遭わないようにするためにどうすればいいのかを考える。	興味本位で自殺や薬物に関するサイトをさがしたり，安易にオンラインショッピングに参加したりすることが，自分の生活に重大な影響を与えることにつながる場合があることを知り，よりよいインターネットの使い方を考える。	「チャット依存症」のように，コンピュータに夢中になりすぎると，自分の生活でどんな悪影響が生じてくるのかを知り，正しい使い方を考える。

インターネットによる「情報モラル」学習　年間指導計画　１年

	指　導　内　容	指導上の留意点
４月 ２５分	**コンピュータをみんながきもちよくつかうために，どんなことをたいせつにしたらいいのでしょうか。** ・一人一人が，「次に使う人の気持ち」を考えて使うことが大切であることを知り，みんなが気持ちよくコンピュータを使うことができるようにするためにどうすればよいのかについて考える。	コンピュータを自分が楽しく使うことだけでなく，「次に使う人」を意識し，学校のみんなが気持ちよく使うための大切さを考えさせたい。
７月 ２５分	**コンピュータをつかうとき，どうしてパスワードをたいせつにするのでしょうか。** ・ネットワーク社会の一員としてパスワードが大切な役目をもっていることを知り，パスワードの正しい扱い方について考える。	コンピュータはネットワークを通して様々なつながりがあることを知り，パスワードを大切にすることは，自分を守ることにつながることを考えさせたい。また，パスワードの正しい扱い方についても考えさせたい。
１２月 ２５分	**みんなのさくひんにはどんないいところがあるのでしょうか。** ・一人一人の作品は，同じものがないことを知り，友達の作品のいいところを見つけながら，それぞれの作品に込められた願いや思いについて考える。	一人ひとりの作品には，作った人の願いや思いがこめられていることを考えさせたい。また，その願いや思いを肯定的に受け止めることの大切さについても考えさせたい。
２月 ２５分	**コンピュータをつかっていてこまったときは，どうすればいいのでしょうか。** ・コンピュータを使っていて困ったときに自分一人で悩むことなく，大人といっしょに安心して学習を進めていくことができることを知り，みんなで安心してコンピュータを使うために大切にしたいことについて考える。	コンピュータの使い方だけでなく，いろいろな問題に直面した場合，先生や親と共に問題を確認し，対応していくことの大切さを考えさせたい。

１年４月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・「次に使う人の気持ち」を考えてコンピュータを使うことの大切さを考える。

・みんなが気持ちよくコンピュータを使うために，どんなことを大切にしたらいいのかを考える。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　コンピュータを使う楽しさについて話し合う。	・　コンピュータを使っていてどんなことが楽しいですか。	・　これまでの活動の中からコンピュータの楽しさを振り返らせたい。
２　「次に使う人」がいやな気持ちになる使い方について考える。	・　「前に使った人」がどんな使い方をしていると,「次に使う人」がいやな気持ちになるでしょうか。	・　具体例を示しながら，自分がされたらどう思うかを考えさせたい。
３　「次に使う人」が気持ちよくコンピュータを使うための行動や約束を考える。	・　「次に使う人」のために，これからどのようにコンピュータを使っていきますか。	・　学校や家庭のコンピュータは多くの人が共同で使うものであることを認識させたうえで，大切な行動や約束について考えさえたい。

３．評価

「次に使う人の気持ち」を考えてコンピュータを使うことの大切さを知り，みんなが気持ちよくコンピュータを使うために，どんなことを大切にしたらいいのかを考えることができたか。

４．板書計画

●コンピュータのたのしさ

・えがかける
・じがかける
・おとがでる
・しらべられる

●みんながきもちよくつかうために…

・ていねいにつかおう
・やくそくをまもってつかおう
・せんせいのはなしをしっかりきこう
・あとかたづけをきちんとしよう

１年４月

コンピュータを　みんなが　きもちよく　つかうために，どんなことを　たいせつに　したら　いいのでしょうか。

きもちよく コンピュータを つかうために

ただしく つかいましょう

★ でんげんボタンを むやみに　おしません。
★ ノートパソコンは，がめんが　きえてから　とじます。

やさしく つかいましょう

★ ちからを　いれません。
★ たたきません。
★ なんども　クリックしません。

きれいに つかいましょう

★ しっかり，かたづけましょう。
★ つぎに　つかう　ひとの　ことを　かんがえましょう。

がんばりたい　ことに　まるを　してね。

☐ ただしく　つかいます。

☐ やさしく　つかいます。

☐ きれいに　つかいます。

１年７月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・パスワードが重要な働きをもっていることを知り，パスワードの大切さや正しい扱い方について考える。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　パスワードの働きについて知る	・ パスワードは何のためにあるのでしょうか。	・ パスワードがネットワークで結ばれたコンピュータを使う上での「暗号」や「鍵」の働きをすることを知らせる。
２　パスワードの大切さについて考える。	・ パスワードをほかの人に知られると，どんな困ったことがおきるでしょうか。	・ コンピュータを「家」，パスワードを「鍵」に例えるなどして，「鍵」を悪用された場合の怖さをイメージさせるようにしたい。
３　パスワードの正しい扱い方について考える。	・ パスワードを大切にするとはどういうことでしょうか。	・ パスワードを大切にするということは，自分自身を守ることになること，また，自身で責任をもって管理すると同時に，トラブルの際には大人に相談することが大切であることも知らせるようにしたい。

３．評価

パスワードが重要な働きをもっていることを知り，パスワードの大切さや正しい扱い方について考えることができたか。

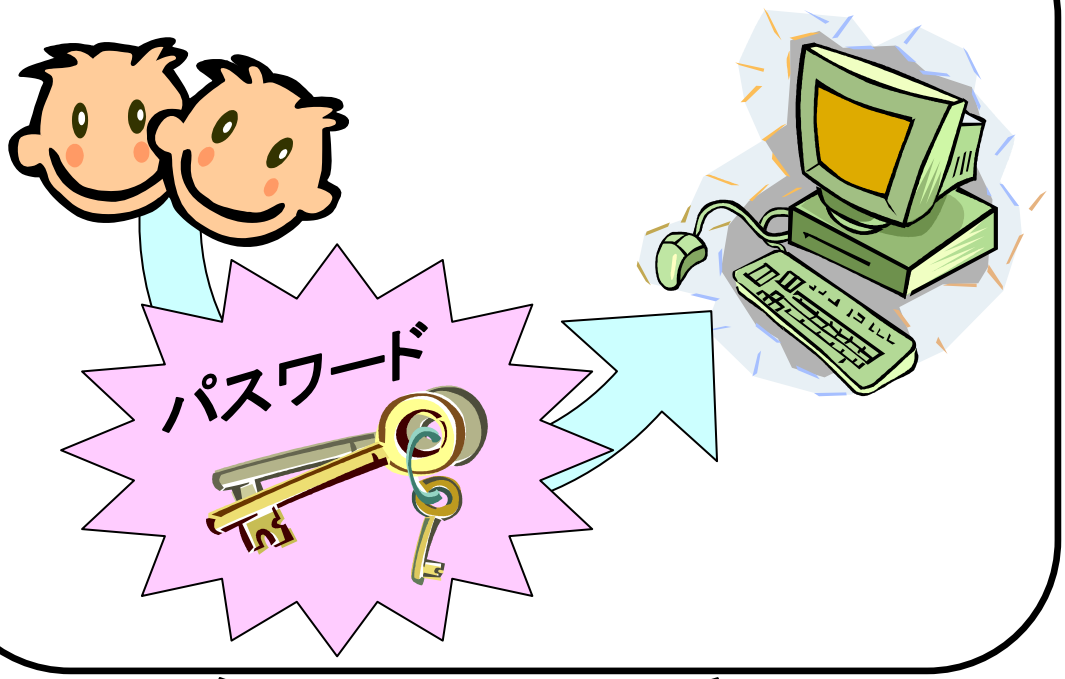
４．板書計画

● パスワードとは？	●もし，しられたら…	●パスワードは！
「あんごう」	・かってにみられる	・おしえない
「あいことば」	・データをぬすまれる	・かかない
「かぎ」	・じぶんのふりをされる	

１年７月

コンピュータを　つかうとき，どうして　パスワードを　たいせつに　するのでしょうか。

パスワードはとてもたいせつです



ひとに おしえません！

かみに かきません！

ほかにも

＊ パスワードを　にゅうりょく　するとき，みたり　みられたり　しない。
＊ パスワードを　きめるときは，むずかしい　もじや　すうじに　する。
＊ じぶんの　パスワードを　しられたら，せんせいや　おやに　そうだんする。

がんばりたい　ことに　まるを　してね。

☐　ひとに　おしえません

☐　かみに　かきません

１年１２月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・一人一人の作品は，同じものがないことを知り，友達の作品のいいところを見つけながら，それぞれの作品に込められた願いや思いについて考える。

・様々な作品の願いや思いを肯定的に受け止めることの大切さについて理解する。

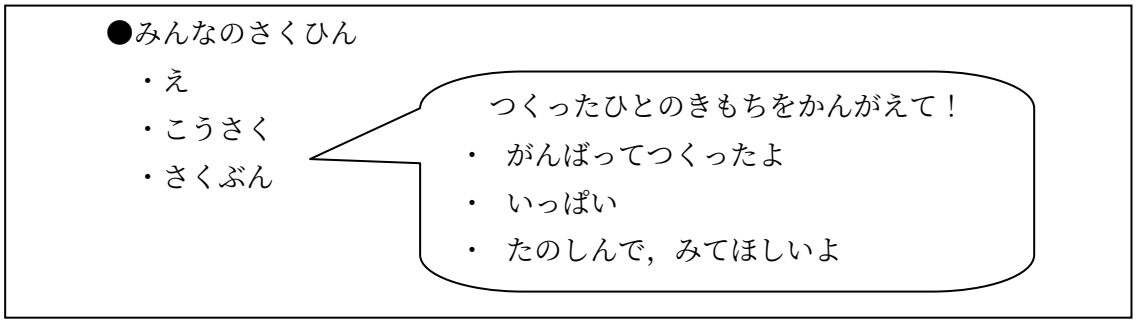
２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　作品に込められた願いや思いについて考える。	・ ものを作ったり，描いたりするときにはどんな気持ちでがんばりましたか。	・ 自分たちが作品作りをしたときの気持ちを想起させ，もの作りに込められた願いや思いを考えさせたい。
２　友達の作品のいいところ見つけをする。	・ 教室にある友達の作品のいいところを見つけましょう。	・ 実際に教室にある作品のいいところを見つけ発表することで，作品への願いや思いを受け止める気持ちをもたせたい。
３　それぞれの作品のよさを認めることの大切さを考える。	・ みんなが作った作品と同じものが世界の中にあるでしょうか。	・ 作った友達の気持ちを考えて作品を認めることは，その友達をも認めることになることにも気づかせたい。

３．評価

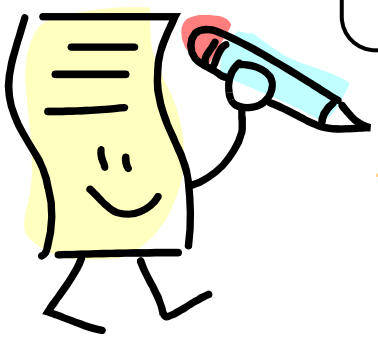
それぞれの作品に込められた願いや思いを考えるとともに，その願いや思いを肯定的に受け止めることの大切さについても理解することができたか。

４．板書計画



1年12月　みんなの　さくひんには　どんな　いい　ところが　あるのでしょうか。

みんなの さくひん

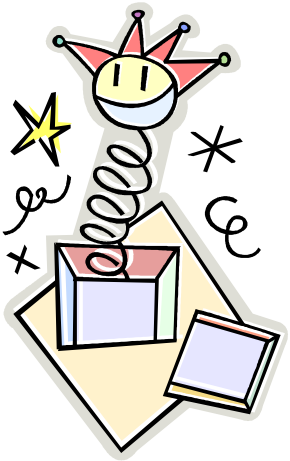


さくぶん

いっぱい
かいたよ

え

たのしんで
みてほしいよ



こうさく

がんばって
つくったよ

つくった　ひとの
きもちを　かんがえて
いいところを
たくさん　みつけましょう

ともだちの　さくひんの　いいところを　みつけましょう。

１年２月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・コンピュータを使っていて困ったときに自分一人で悩むことなく，大人といっしょに安心して学習を進めていくことができることを知る。

・みんなで安心してコンピュータを使うために大切にしたいことについて考える。

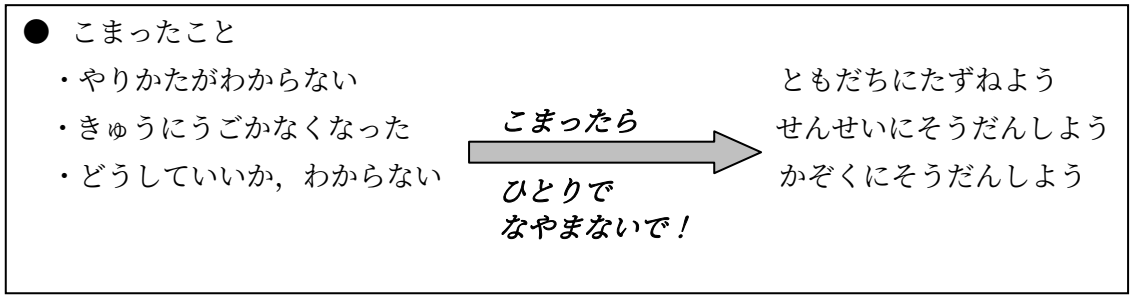
２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　コンピュータを使っていて困った経験を話し合う。	・ コンピュータを使っていて困ったことはありますか。	・ これまでの活動の中から，操作上およびネット上で困ったことや迷ったことを振り返らせたい。
２　困ったときの対処の経験について話し合う。	・ そのときどうしましたか。	・ 相談することなく一人で悩んだ経験について，特に取り上げるようにしたい。
３　困ったときの対処の方法について知る。	・ 困ったときにはどうすればいいでしょうか。	・ 一人で悩まず，友達に聞いたり，先生に相談したりすることができることを知らせたい。
４　安心してコンピュータを使うための心がまえや行動について考える。	・ 安心してコンピュータを使うためにはどうすればいいでしょうか。	・ まず，自分自身が正しく約束を守り判断すること。また，困ったときには早めに大人に相談することが次のトラブルを防ぐことにもなることを考えさせたい。

３．評価

困ったときには大人といっしょに学習を進めていけばよいことを知り，安心してコンピュータを使うために大切にしたいことについて考えることができたか。

４．板書計画



1年2月

コンピュータを　つかっていて　こまったときは，どうすれば　いいのでしょうか。

コンピュータを　つかっていて…

あんしんして
コンピュータをつかうために

せんせいの
おはなしを
しっかり
ききましょう

やくそくを
まもって
つかいましょう

おうちでは，
おとなと
いっしょに
つかいましょう

こまったら
せんせいや
かぞくに
そうだんしましょう

あなたは　こまったときに　どうしますか。

インターネットによる「情報モラル」学習　年間指導計画　２年

	指　導　内　容	指導上の留意点
４月 ２５分	**インターネットを使って見ることのできるしゃしんや文には，どんな気もちがこめられているのでしょうか。** ・インターネットから取り入れた絵や写真を勝手に変えたり、勝手に使ったりすることで，いやな気持ちになってしまう人がいるかもしれないことを知り，よりよい使い方を考える。	インターネット上で出会う作品（写真や文）には作成者の願いや思いが込められていることを考えさせたい。また，その作品をよりよく活用するためのルールやマナーについても考えさせたい。
７月 ２５分	**インターネットのじょうほうは，すべて正しいじょうほうなのでしょうか。** ・インターネットに公開されている情報の一部には，正しくない情報もあるということをいくつかの例示によって知り，「ほんとうかな？」とたちどまることの大切さについて考える。	インターネットで得た情報の中にも不確かなものや間違ったものがあることを知り，その情報を受け取る自分自身の判断が大切なことを考えさせたい。
１２月 ２５分	**けいじ板やでんしメールで，気もちのよい書き方はどれでしょうか。** ・電子掲示板や電子メールは，「文字」が中心の世界であることを知り，だれがみても気持ちのよい内容であることが大切であることを，よい見本を見せながら考える。	自分の思いを伝える手段としての「文字」は，書き方によっては相手にいやな思いをさせることがあることを考えさせたい。また，相手にとって気持ちのよい書き方とはどのようなものかについても考えさせたい。
２月 ２５分	**インターネットで学習をするときには，どんなじょうほうをさがせばいいのでしょうか。** ・インターネットを使うときは，TPO に応じて自分自身で選ぶことが自分の学習を進める上で大切であることを，例示を通して知り，学習の時間にどんな情報を探していけばいいのか考える。	インターネットで調べる場合，より多くの情報に出会えるという利点がある反面，その多くの情報を自分自身で判断し，取捨選択していくことの必要性を考えさせたい。

２年４月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・インターネットから取り入れた作品（絵や写真など）にはその作成者の思いが込められていることを知り，よりよい使い方を考える。

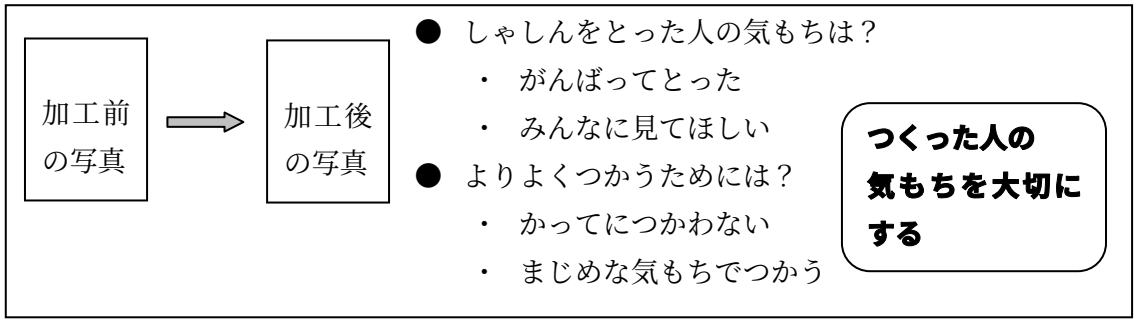
２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　作品の悪用について考える。	・ インターネットから得た写真に落書きすることについてどう思いますか。	・ 実際にインターネットから得た写真を教師が加工したものを提示し，その善悪について考えさせたい。
２　作品に込められた作成者の思いを考える。	・ この写真をとった人は，どのような気持ちでインターネットに写真を載せているのでしょうか。	・ 作品を作成し，インターネット上で広く紹介している作成者の気持ち，またそれを勝手に使われたり，悪用されたりしたときの気持ちを自分の立場に置き換えて考えさせたい。
３　悪用された作成者の気持ちを考える。	・ 写真に落書きをされていると知ったら，作成者はどんな気持ちになるでしょうか。	
４　作品のよりよい活用のしかたについて考える。	・ 作成者にとって大切な作品を使うとき，どんなことを心がければいいでしょうか。	・ 作成者の気持ちを尊重し，誠意を持って活用することの大切さを考えさせたい。

３．評価

インターネットから取り入れた作品（絵や写真など）にはその作成者の思いが込められていることを知り，よりよい使い方を考えることができたか。

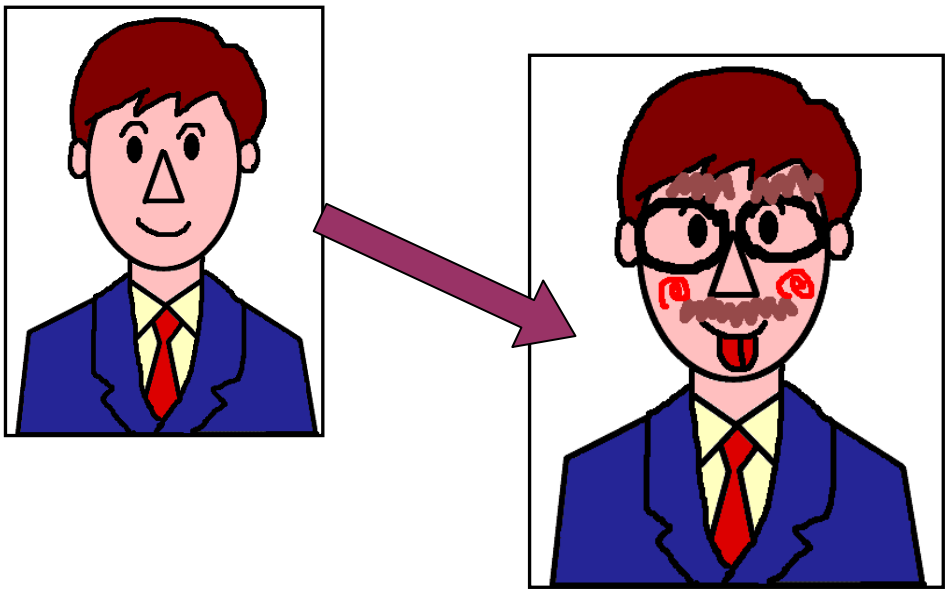
４．板書計画



２年４月

インターネットをつかって見ることのできるしゃしんや文には，どんな気もちが　こめられているのでしょうか。

「このらく書き，どう思う？」



作ひんの　よりよいつかいかた

かってに　つかいません

先生やかぞくにそうだんして，作った人に「きょか」をとることができます。

かってに　作りかえません

作った人の思いから，はなれてしまわないようにしましょう。

作った人の　きもちを　よく　考えます

どんなつかいかたをしたら，いやな気もちになるでしょう。

まじめな気もちでつかいましょう

「たいせつなものをつかわせていただいている」という気もちがだいじです。

あなたは　どんなことを　大せつに　しますか。

２年７月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・インターネットに公開されている情報の一部には，正しくない情報もあるということを知り，情報を受け取る自分自身の判断や対処が大切なことを考える。

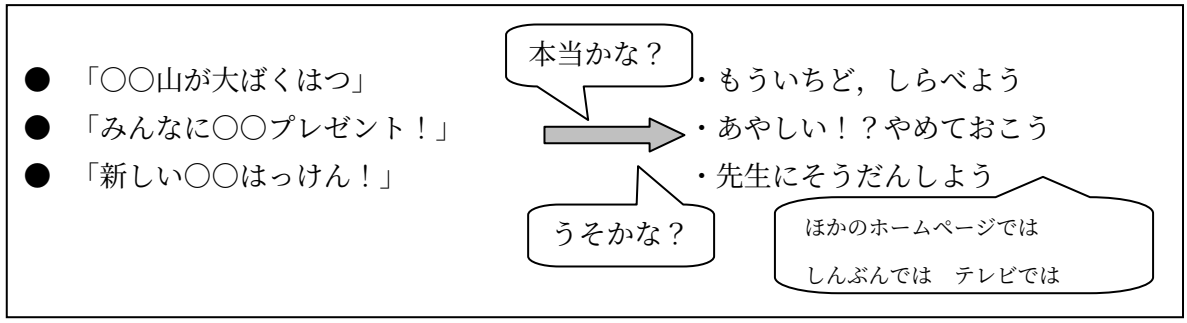
２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　インターネットで得た情報の真偽について話し合う。	・ インターネットでこんなホームページを見つけました。本当だと思いますか。	・ ダミーページなどの例示を通して，それが「正しい」か「正しくない」か，意見を交流しながら考えさせたい。
２　インターネット上には正しくない情報もあることを知る。	・ 間違った情報を流すホームページがあるということについてどう思いますか。	・ 他のダミーページをいくつか紹介するとともに，インターネットの世界はだれもが自由に様々な情報を広められることを知らせたい。
３　様々な情報への正しい対処の仕方を考える。	・ いろんな情報に出会ったとき，どう受け止めることが大切でしょうか。	・ 「本当かな？」といったん立ち止まって，情報に接することの大切さについて考えさせたい。

３．評価

インターネットに公開されている情報の一部には，正しくない情報もあるということを知り，情報を受け取る自分自身の判断や対処が大切であることを考えることができたか。

４．板書計画



2年7月　インターネットのじょうほうは，すべて正しいじょうほうなのでしょうか。

「お知らせです！」

つぎのような　お知らせの　ページを　見つけました。
あなたなら　どうしますか？

お知らせです！

みなさん，大ニュースです！
こんどの土曜日，
うちゅうから巨大(きょだい)いんせきがとんできて，
びわこに落下(らっか)することがわかりました。
びわこはわれ，水があふれて京都は大こうずいになります。
土曜日までにいそいで避難(ひなん)してください。

本当かな？

じょうほうの 正しい うけとめかた

★どんなじょうほうも　すぐにはしんじません。
★いちど立ち止まって，よく考えます。
★じぶんで　もういちどしらべます。
★こまったら，先生やかぞくにそうだんします。

じょうほうを　ただしく　うけとめるために，どんなことに気をつけますか。

２年１２月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・電子掲示板や電子メールは,「文字」が中心の世界であることを知り，だれがみても気持ちのよい内容であることが大切であることを考える。

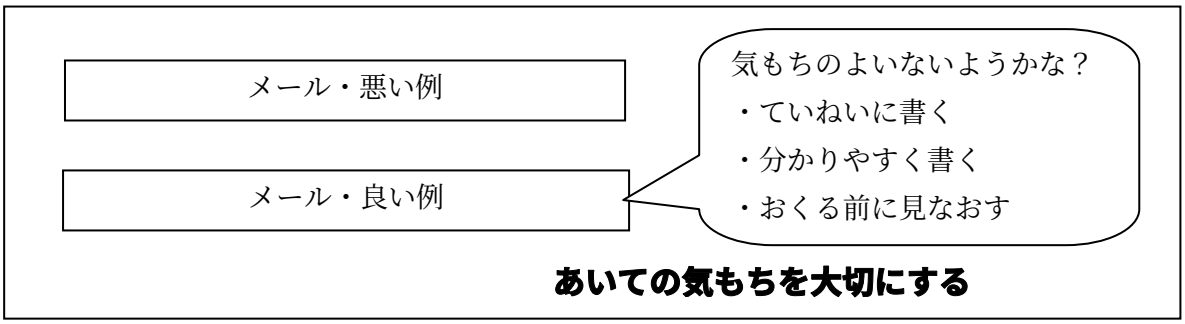
２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　送られてきたあるメールについて話し合う。	・ こんな電子メールが届きました。どう受け止めますか。	・ 少し乱暴に受け取れる電子メールを提示し，受け取った側の気持ちについて考えさせたい。
２　送信者の意図について考える。	・ 送った人はどんな気持ちでこのメールを送ったのでしょうか。	・ 文字中心の電子メールは，書き方によっては送信者の意図しない意味で受け取られることがあることに気づかせたい。
３　掲示板やメールを送る場合の心がまえを考える。	・ どんなことに気をつけてメールを送ればよいでしょうか。	・ 誤解のないていねいな書き方が大切なことを，見本の文章を提示しながら考えさせたい。

３．評価

電子掲示板や電子メールは,「文字」が中心の世界であることを知り，だれがみても気持ちのよい内容を書くことが大切であることを考えることができたか。

４．板書計画



２年１２月　けいじばんや電子メールで，気もちのよい書きかたはどれでしょうか。

「遊びましょう！」

つぎのような電子メールがとどきました。あなたならどう思いますか？
(^_^)マークを　いれてみましょう。（○，△，×でもいいね。）

＞今すぐあそばへん？
3時に○○公えんでまってるし。
来なかったら，ほっといて行っとくしな。
ぜったい来いよ！
京都たろう

①

②

＞今からいっしょにあそびませんか？
つごうはどうですか？
もしよかったら3時に○○公えんでまっています。
もし来なかったら，ざんねんだけど，
きょうはいっしょにあそぶのをあきらめます。
楽しみにしているので来てね。
京都たろう

＞いまからいっしょにあそびませんかつごうはどうですかもしよかったら3じに○○こうえんでまっていますもしこなかったらざんねんだけどきょうはいっしょにあそぶのをあきらめますたのしみにしているのできてね
京都たろう

③

気もちのよい電子メール

★ていねいな ことばづかいで書きましょう
★あい手の気もちや つごうを考えて書きましょう。
★分かりやすく書きましょう。
★書けたら，おくる前にいちど見直しましょう。

どんなことに気をつけて，電子メールを書きますか？

２年２月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・インターネットを使うときは，TPO に応じて必要な情報を自分自身で選ぶことが自分の学習を進める上で大切であることを，例示を通して知り，どんな情報を探していけばいいのか考える。

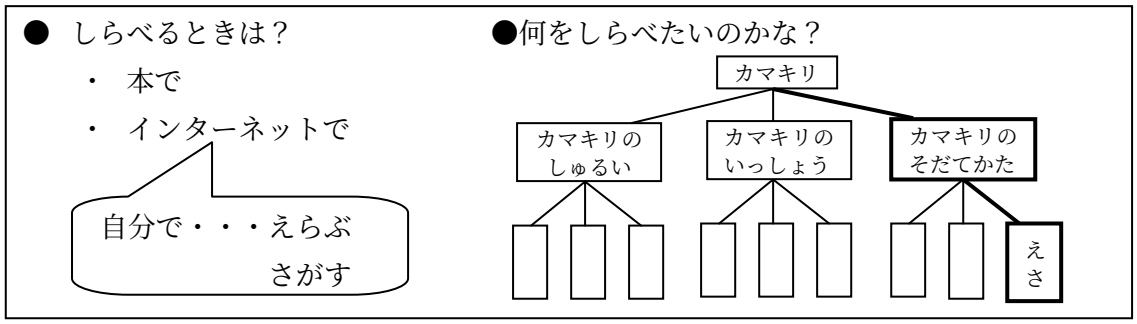
２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　これまで経験してきた「調べ方」について考える。	・　図書室で何かを調べるときはどのようにしてきましたか。	・　まず本を選び，ページをめくりながら，自分が調べたいことをこつこつ探してきた経験を思い起こさせたい。
２　インターネットにおける「調べ方」について考える。	・　インターネットでは調べたいことがすぐに見つかるのでしょうか。	・　インターネットでの検索についても，調べるめあてをしっかりともち，必要な情報を自分で選んでいくことの大切さを考えさせたい。
３　検索のシミュレーションをする。	・　例えば「カマキリ」の『えさ』について調べるには，どの情報を選んでいけばよいかを考えてみましょう。	・　インターネットでは，より多くの情報に出会える半面，その情報の取捨選択が大切になってくることを，例示におけるシミュレーションを通して，考えさせたい。

３．評価

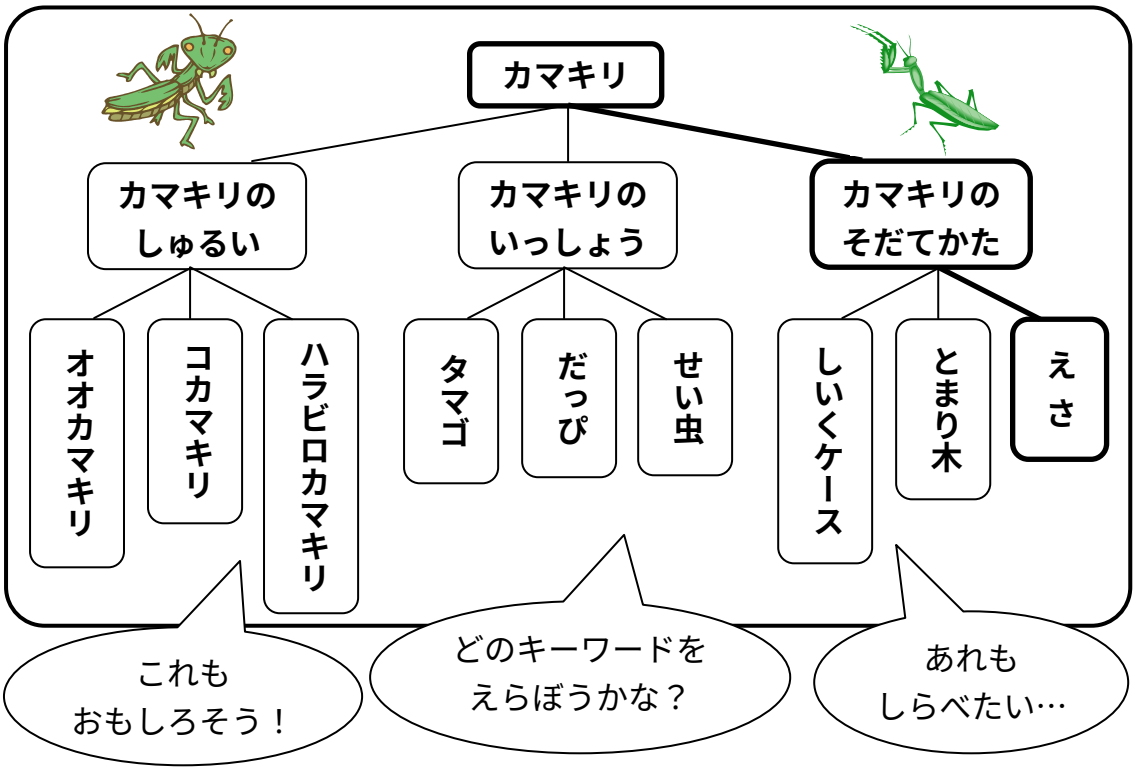
必要な情報を自分自身で選ぶことが自分の学習を進める上で大切であることを知り，どんな情報を探していけばいいのか考えることができたか。

４．板書計画



2年2月 インターネットで学しゅうをするときには，どんなじょうほうをさがせばいいのでしょうか。

「カマキリの『えさ』についてしらべたい…」



じょうほうのさがし方

★ 「何をしらべたいのか」を，いつも考えておきましょう。
★ しらべたいことにかんけいのあることば「キーワード」をえらびましょう。
★ 友だちや先生にたよらず，「自分で」考えましょう。
★ ほかのじょうほうに「気をとられない」ようにしましょう。

どんなことに気をつけて，じょうほうをさがしますか？

インターネットによる「情報モラル」学習　年間指導計画　３年

	指　導　内　容	指導上の留意点
４月 ２５分	**インターネットを使って見ることのできる写真や文を使うとき，どんな使い方をすれば作った人がうれしい気持ちになるのでしょうか。** ・インターネット上に公開されているものには，すべて著作権があることを知り，著作権を守ることは，著作者の人権を守ることにつながることを考える。	インターネット上の作品も含め，人が作ったすべての作品には著作権があることを知らせ，それらを活用する際のルールやマナーを考えさせたい。
７月 ２５分	**インターネットで学習をするときには，どんなことを大切にして調べたらいいのでしょうか。** ・インターネットを使って検索する際，いろいろなページに目がいきがちだが，自分がほしい情報を，めあてをもって検索することが自分の学習を進める上で大切であることを知り，よりよい使い方を考える。	インターネットで検索を行っていると，目的以外の興味深い情報が多数飛び込んでくる場合がある。それらの情報に惑わされないで，調べるめあてを常に意識し検索することの大切さを考えさせたい。
１２月 ２５分	**インターネットで友達と楽しく交流するために，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。** ・電子掲示板やチャットでは，ハンドルネームで参加していても嘘を書き込んではいけないことや，間違って送信した場合は，まずは訂正の文を送ることが大切であることを知り，責任ある使い方について考える。	電子掲示板やチャットでは，「文字」を使った交流が中心となるが，コンピュータの向こう側にいる人の存在を忘れず，注意深く言葉を選び，誠意をもって交流することが大切であることを考えさせたい。
２月 ２５分	**インターネット上で名前などを質問されたとき，なんでもすぐに答えることは，いいことなのでしょうか。** ・個人情報の収集だけを目的にするようなホームページがあることを知り，安易にアンケートに答えたり，電話番号を書き込んだりするなどの個人情報を漏らさないことが自分を守ることにつながることを考える。	インターネット上で得た個人情報を悪用する人が存在することを知らせ，自分や友達を守るためにも，「個人情報は書かない，聞かれても教えない」というルールを守ることの大切さを考えさせたい。

３年４月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・インターネット上に公開されているものには，すべて著作権があることを知り，著作権を守ることは，著作者の人権を守ることにつながることを考える。

・インターネット上の作品を活用する際のルールやマナーを考える。

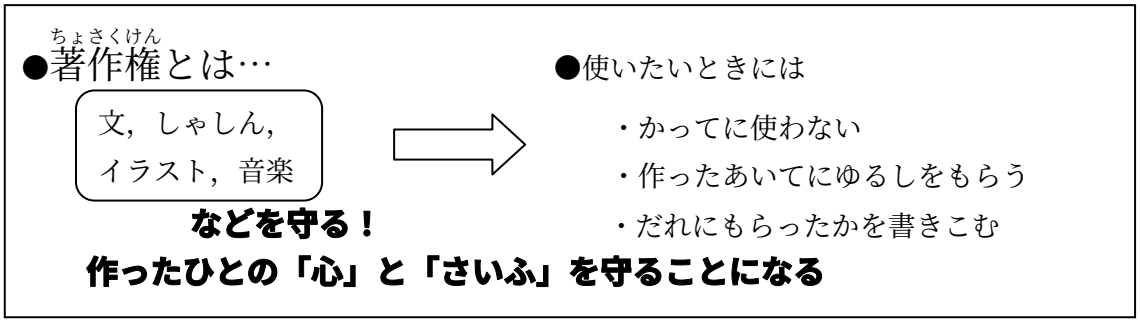
２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　音楽 CD の複製について考える。	・ 先生は CD をたくさんコピーして売ろうと思うのですが，どう思いますか。	・ 違法コピーは CD 製作に関わった人々の利益を脅かし，製作者の願いを踏みにじる行為であることに気づかせたい。
２　「著作権」について知る。	・ 「著作権」という言葉やその意味を知っていますか。	・ 著作権の内容や意味とともに，著作権は著作者の人権を守る権利であるということを知らせたい。
３　インターネット上の作品の著作権について考える	・ インターネットで見ることのできる作品にも著作権はあるのでしょうか。	・ インターネット上の作品に込められた製作者の願いや思いについても考えさせたい。
４　インターネット上の作品を活用する際のルールやマナーを考える。	・ インターネットで見ることのできる作品は，どのように活用すればよいのでしょうか。	・ 「許可を得る」「引用先を明記する」など具体的な活用マナーについて明確に知らせたい。

３．評価

著作権を守ることは，著作者の人権を守ることにつながることに気づき，インターネット上の作品を活用する際のルールやマナーを考えることができたか。

４．板書計画



３年４月

インターネットを使って見ることのできるしゃしんや文を使うとき，どんな使い方をすれば作った人がうれしい気もちになるのでしょうか。

「著作権（ちょさくけん）とは？」

インターネットで見ることのできる作品は，
どれも作った人のどりょくやくふう，思いがこめられたものです。

それらを守るためのきまりが**「著作権」**です。

インターネットで見ることのできる作品を使いたいときには…

★ かってに使わないようにしましょう。
★ 電子メールなどで，作った人に「使ってもよいか」をたずねましょう。
★ ゆるしてもらったら，作った人の思いを大切にして使いましょう。
★ もらった人の名前やサイト名，ホームページアドレスなどを書いておきましょう。
★ 「ご自由にお使いください」と書かれたイラストやプログラムを使うときは，「使うためのきまり」があるかどうかたしかめ，そのきまりを守って使いましょう。

作った人がうれしい気持ちになる使い方とは？

３年７月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・インターネットを使って検索する際，自分がほしい情報を，めあてをもって検索することが自分の学習を進める上で大切であることを知り，よりよい使い方を考える。

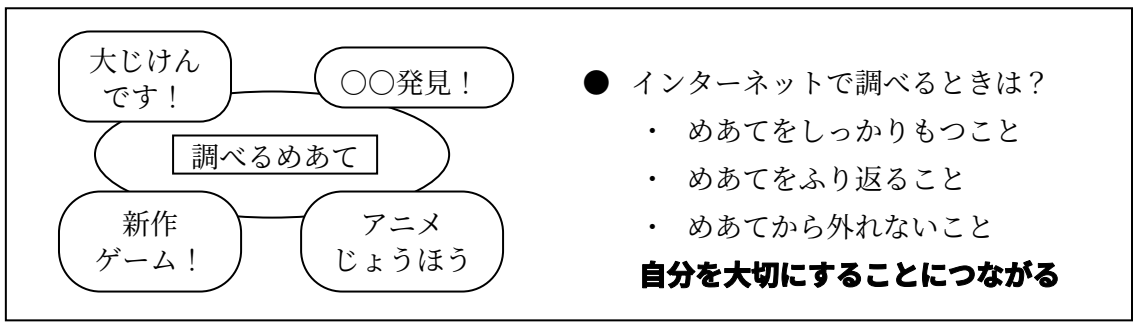
２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　これまでの検索活動を振り返って話し合う。	・ インターネットで調べていたときに，調べたいことのほかにおもしろそうなページを見つけたことはありますか。	・ 魅力あふれるページの具体例を示しながら，これまでの経験について意見を交流させたい。
２　興味深い情報に接したときの対応を考える。	・ そんな時，どうしますか。	・ 「とりあえず見る」「無視する」「後で見る」などの選択肢を用意し選ばせても良い。
３　学習を進める上での意味を考える。	・ 見たいものをついつい見ることは，学習を進める中で，良いことでしょうか。	・ 限られた時間の中で学習する場合，めあてをしっかり持って検索を進めることが効果的な学習につながることを考えさせたい。
４　よりより検索の仕方について考える。	・ インターネットを使った学習では，どのような調べ方をすればいいでしょうか。	・ インターネットでは望む，望まないに関わらず，多くの情報が多数飛び込んでくることを知り，惑わされず選ぶことの大切さについて考えさせたい。

３．評価

ほかの情報に惑わされないように，めあてをもって検索することが自分の学習を進める上で大切であることを知り，よりよい使い方を考えることができたか。

４．板書計画

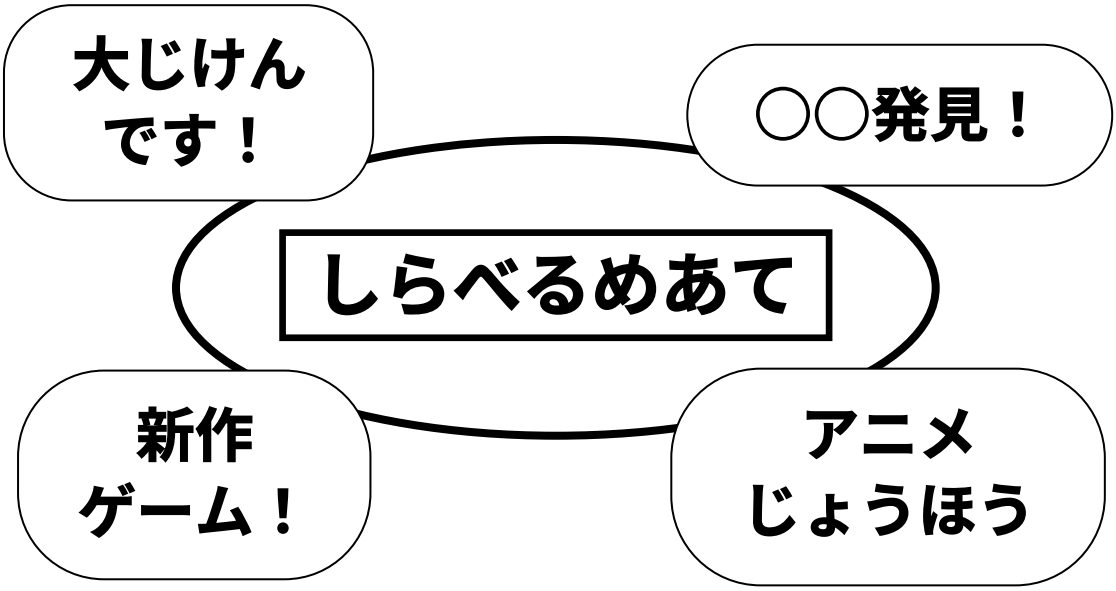


3年7月

インターネットで学習をするときには，どんなことを大切にしてしらべたらいいのでしょうか。

「○○○をしらべていたら…」

あることをしらべていたら，
おもしろそうな言葉やページをたくさん見つけました。
あなたならどうしますか？



インターネットのよりよいしらべ方

★「めあて」をしっかりもちましょう。
★「めあて」をふりかえりましょう。
★「めあて」から外れないようにしましょう。

めあて＝自分がしらべたいこと

どんなことに気をつけて，インターネットでしらべますか？

３年１２月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・電子掲示板やチャットでは，嘘を書き込んではいけないことや，間違って送信した場合はまずは訂正の文を送ることが大切であることを知り，責任ある使い方について考える。

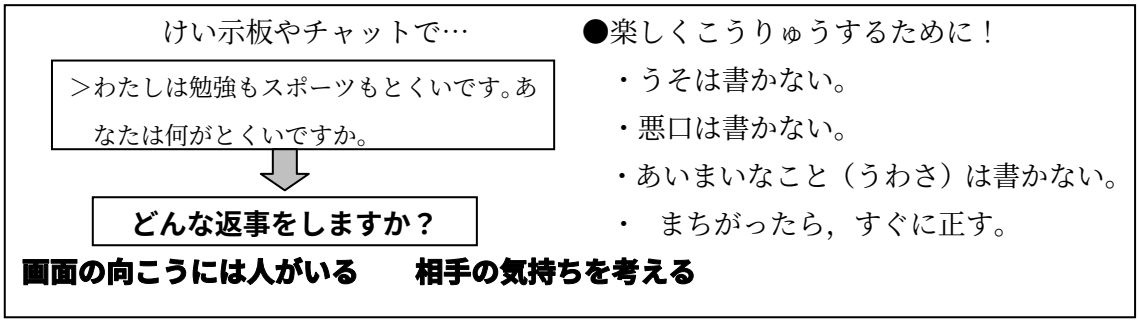
２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　チャットをしている場合の返事の仕方を考える。	・ 相手からこんな質問をされました。どう答えますか。	・ 返事の仕方について意見を交流しながら，つい嘘をついたり，大げさな書き方をしてしまったりするという例を提示したい。
２　正しい返事ができない理由を考える。	・ なぜそんな嘘や大げさな返事をしてしまうのでしょうか。	・ 相手の顔が見えない時には，「自分を良く見せたい」などの心の弱さが表れやすいことを考えさせたい。
３　間違った書き込みがもとで起こりえるトラブルについて知る。	・ このような間違った書き込みが元で実際にいろんなトラブルや事件が起きています。	・ 安易な書き込みがもとで様々な問題に発展する可能性があることを知らせたい。
４　楽しく交流するためのルールやマナーを考える。	・ どんなことに気をつけて書き込みをすれば，楽しく交流できるのでしょうか。	・ コンピュータの向こう側にいる人を常に意識し，責任と誠意ある使い方が大切であることを考えさせたい。

３．評価

電子掲示板やチャットでは，嘘を書き込んではいけないことや，間違って送信した場合はまずは訂正の文を送ることが大切であることを知り，責任ある使い方について考えることができたか。

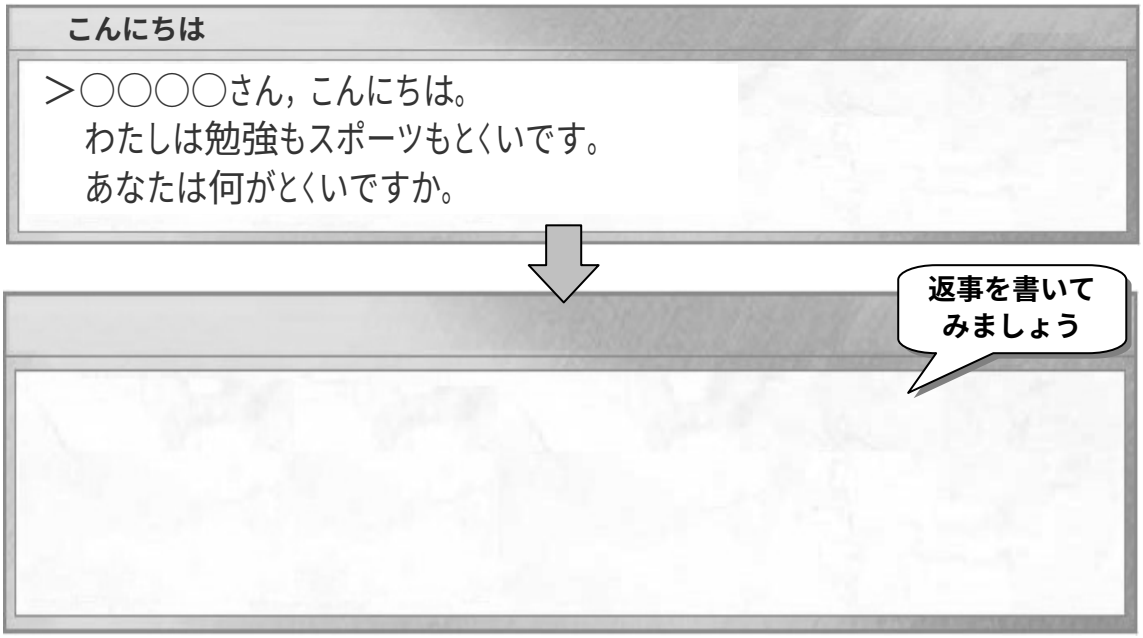
４．板書計画



３年１２月 インターネットで友だちと楽しくこうりゅうするために，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。

「どんなふうに答えようかな？」

電子けいじ板でこんな書きこみがありました。
なんと答えますか？



インターネットで
楽しくこうりゅうするためには…

★うそは書かない。
★悪口は書かない。
★あいまいなこと（うわさ）は書かない。
★まちがって送ってしまったら，すぐにまちがいを正すメッセージを送る。

楽しくこうりゅうするために，どんなことを大切にしますか。

３年２月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・個人情報の収集だけを目的にするようなホームページがあることを知り，個人情報を大切に扱い，安易に漏らさないことが自分を守ることにつながることを考える。

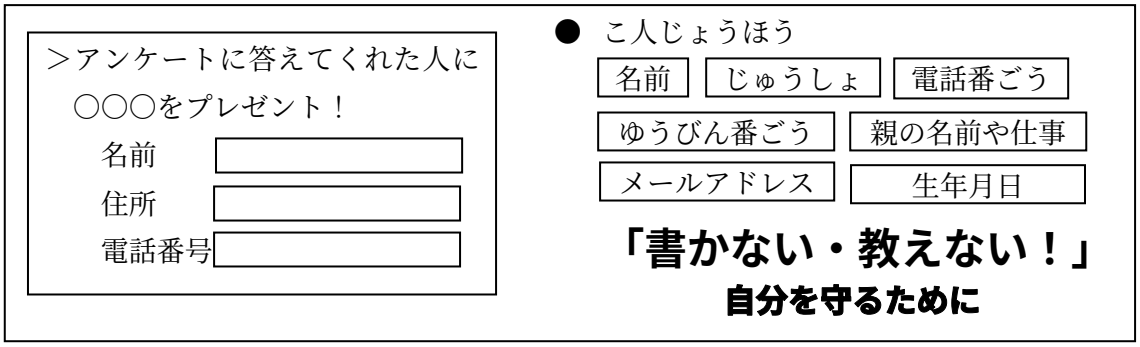
２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　インターネットにアンケートのページがあることを知る。	・　インターネットでこのようなページを見つけました。どうしますか。	・　住所や電話番号などを記入するように作られた学習用ダミーページなどを使い，どう対応するかを考えさせたい。
２　アンケート等の製作者の意図を考える。	・　アンケートを作った人の目的は何だと思いますか。	・　インターネットには，個人情報を集めて，悪用しようとするページがあることを知らせる。
３　個人情報にはどんなものがあるか知る。	・　どんなものが個人情報なのか考えてみましょう。	・　カード等を使い，どんなものが個人情報であるのかを考えさせたい。
４　個人情報の大切な扱い方について考える。	・　個人情報を大切に守るためには何を心がければいいでしょうか。	・　「書かない・教えない」を原則とし，個人情報を漏らさないことが自分を守ることにつながることを考えさせたい。

３．評価

個人情報の収集だけを目的にするようなホームページがあることを知り，個人情報を大切に扱い，漏らさないことが自分を守ることにつながることを考えることができたか。

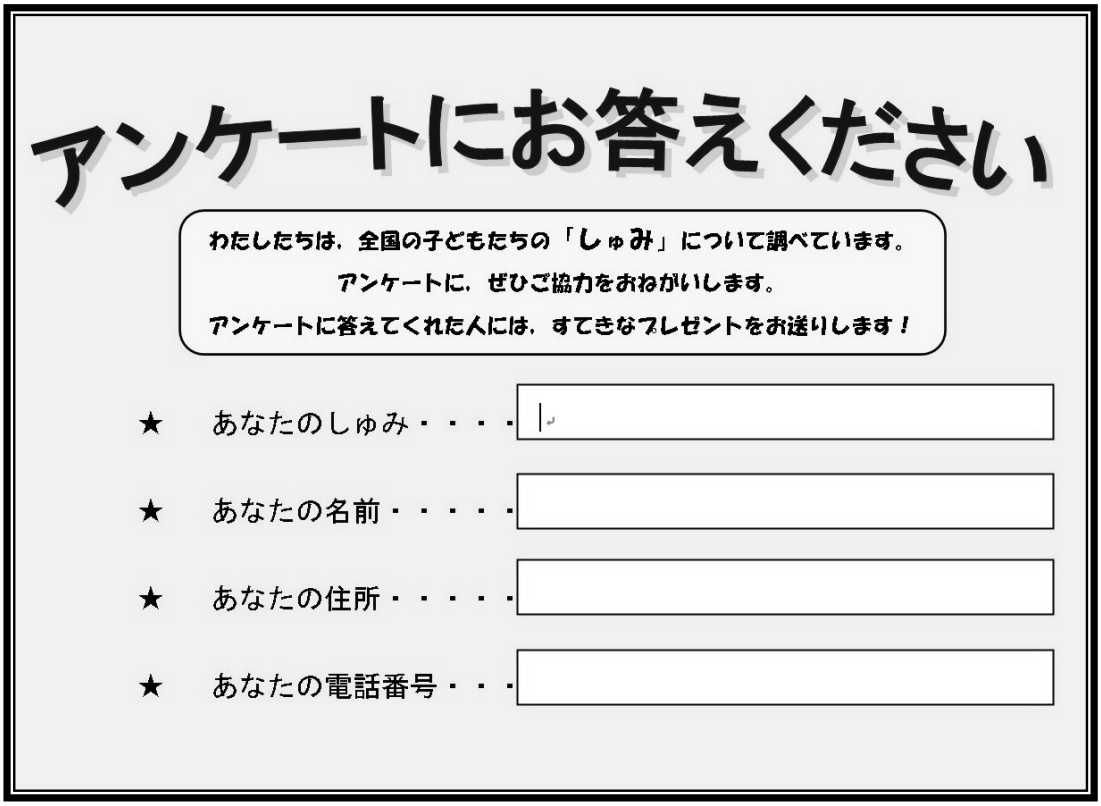
４．板書計画



3年2月 | インターネット上で名前などをしつもんされたとき，なんでもすぐに答えることは，いいことなのでしょうか。

「あなたの名前は？」

つぎのようなアンケートページを見つけました。
あなたならどうしますか？



個人情報（こじんじょうほう）は，なんでもすぐに

「書かない，教えない」

名前　住所　電話番号　ゆうびん番号　親の名前や仕事　生年月日　メールアドレス　などの個人情報を書くときは，必ずおうちの人や先生に相談をしてから書くようにしましょう。

インターネット上でしつもんをされたら，あなたはどうしますか。

インターネットによる「情報モラル」学習　年間指導計画　４年

	指　導　内　容	指導上の留意点
４月 ２５分	**電子メールを送るときには，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。** ・電子メールは送信ボタンをクリックすると二度と取り返せないことを知り，相手がこの電子メールをもらっていやな思いをしないか，意味は伝わるか，という２点で見直すことが大切であることを考える。	電子メールを受け取る人の気持ちになって文を作成することが大切であることを知り，どんな電子メールを送ると相手が楽しい気持ちになるのかを考えさせたい。
７月 ２５分	**インターネットの情報は，すべて正しい情報なのでしょうか。** ・インターネット上の情報にすぐに反応することは決してよいことばかりではないことを知り，だれが，何のために情報を発信しているのかをたちどまって考えることの大切さや，情報をうのみすることの危険性について考える。	ホームページに書かれている内容が，いつも必ず正しいとはかぎらないことを知り，どんな目安をもって情報を見ればいいのかを考えさせたい。
１２月 ２５分	**インターネットで交流しているとき，見ている人が楽しい気持ちになるには，どんな書き込みをすればいいのでしょうか。** ・電子掲示板やチャットは，第三者も簡単にみることができることを知り，何気ない悪口やうっぷん晴らしが大きくなっていく可能性や思わぬ方向へ発展してしまう危険性があることについて考える。	何気ないうそや，ちょっとしたでたらめな情報でも，想像以上にたくさんの見ている人がいやな気持ちになってしまうことを知り，楽しい交流をするためにどんなことを大切にしたらいいのかを考えさせたい。
２月 ２５分	**インターネットでは，なんでもすぐにダウンロードをしてもいいのでしょうか。** ・安易にゲームファイルのダウンロードを行ったり，興味本位で添付ファイルを開けたりする行為が，ネットワークそのものを壊す可能性があることを知り，ウィルス被害に遭わないようにするためにどうすればいいのかを考える。	データをダウンロードすることは，ウィルスを取り入れてしまう可能性が高くなることを知り，必要な情報はどのようなことに気を付けてダウンロードすればいいのかを考えさせたい。

４年４月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・電子メールを送るときに，どんなことを大切にしたらいいのかを考える。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　よい電子メールについて考える。	・　どんな電子メールを受け取るとうれしい気持ちになりますか。	・　受け取る人の気持ちを考えて話し合いをさせたい。
２　よくないメールについて考える。	・　どんな電子メールをもらうと困りますか。	・　不愉快な気持ちにさせるメールや困ったメールはどんなものか考えさせたい。またそれらはちょっとした配慮で気持ちのよい電子メールに変えることができることにも気づかせたい。
３　メールを送るとき大切にしたいことについて考える。	・　メールを送るときには，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。	・　一度送ったメールは取り戻せないので，必ず見直す習慣をつけることが大切であることを考えさせたい。

３．評価

電子メールを送るときには，受け取る人の気持ちになって，文の内容を工夫したり，見直したりすることが大切であることを考えることができたか。

４．板書計画

●すてきな電子メール
ていねいな言葉づかい
わかりやすい
まとめてある　よみやすい
差出人が分かる

●困った電子メール
らんぼうな言葉づかい
わかりにくい
たくさん　よみにくい
誰からきたか，わからない　あてさき間違い

＜一度送ると戻せない＞＜必ず見直しをする＞　受け取る人の気持ちになって

４年４月　電子メールを送るときには，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。

電子メールを受け取る相手の気持ちを考える

出す前にもう一度読み返して，言葉の使い方や読みやすさを確かめましょう。

もらってうれしい電子メール

・わかりやすい「件名」がついている

・ていねいな言葉づかい

・ないようがわかりやすい
　まとめてある

・よみやすい
だんらくごとに１行あいている
　区切りのよいところで改行

・相手がコンピュータの画面上で読みやすいように工夫してある
　字にまちがいがない

・さし出した本人の名前とメールアドレスが書いてある

もらってもちょっと困ってしまう電子メール

・わかりにくい「件名」がついている

・らんぼうな言葉　こうげきする言葉
・きたない言葉　傷つく言葉

・何を伝えたいのかわからない
　まとめていない

・だらだら長い
　一文が長い

・字のまちがいが多く，読みにくい
　見直しをしていない・・・

・だれからきたか分からない

電子メールは，一度送ると，取り戻すことができません。
出す前に<u>もう一度読み返して</u>，言葉の使い方や読みやすさを確かめましょう。

どんなことに気をつけて電子メールを送りますか？

４年７月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・インターネット上に公開されている情報は,「すべて正しい情報とは限らない」ことを知り，自分の責任で確かめながら情報選択をしなくてはならないことを知る。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　インターネット上の情報の真偽について考える。	・ インターネット上に書かれている内容が正しいかどうか，判断しながら使っていますか。	・ インターネット上の情報は，人が作ったものであることを再確認し，中にはまちがった情報もあることを知らせたい。
２　正しい情報かどうか見分ける方法を考える	・ どのようにして見わけたらいいのでしょうか。	・ ホームページ上に書かれていることが信用できるかどうかの目安について考えさせたい。
３　複数の情報から考えることを知る	・ 他の方法で確かめることはできないのでしょうか。	・ インターネット上の情報を確認するために，書籍など，別の媒体で再確認することも有効であることを知らせたい。
４　学習のまとめをする。	・ 情報を選ぶときに大切にすることはどんなことでしょうか。	・ 内容は必ず自分で確かめる，困ったときは相談をする等，調べるときの基本的な考え方を知らせたい。

３．評価

インターネット上にある情報は，いつも正しいとはかぎらないことを知り，情報の真偽については自分の責任で判断することが大切であることがわかったか。

４．板書計画

●インターネット上の情報はみんな正しいのかな？

だれ（どのグループ，会社等）が作成しているか

何を参考にしているか，どこから引用しているか

作成された日付が表示されているか。

他の情報を比べ同じ内容になっているか。　　新聞，雑誌，テレビ・図書館で確認

＜自分自身の責任で判断＞

４年７月　　インターネット上の情報は，すべて正しい情報なのでしょうか。

インターネット上の情報を見るときには

- 本当に正しいのか，立ち止まって考えましょう。
- 新しい情報かどうか，確かめるようにしましょう。
- ほかのページの情報と比べてみましょう。
- 新聞や本，テレビの情報とも比べてみましょう。
- おうちの人や先生，お友だちの意見も聞いてみましょう。

ホームページチェック１０

- □ ページのタイトルがありますか？
- □ 内容について，はじめにきちんと書いてありますか？
- □ 更新（こうしん）された日付はありますか？
- □ 資料がいつのもので，何を参考にしたか，書いてありますか？
- □ 参考になるホームページへのリンクがありますか？
- □ 作った人への連絡先（れんらくさき），作った人（グループや会社など）がわかりますか？
- □ 作った人は，ページの内容について十分な知識（ちしき）をもって作ったと思いますか？
- □ このページがだれにむけて，どんな目的で作られたかわかりますか？
- □ 広告がやたら多くないですか？
- □ ほかのホームページや新聞・本で発表されている内容と比べると，どうですか？

結果をみてから，信用できるホームページかどうか，判断（はんだん）してみてはどうでしょうか。

インターネットを使うときに気をつけたいことはなんですか？

４年１２月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・インターネットで交流しているとき，見ている人が楽しい気持ちになるには，どんな書き込みをすればいいのか考える。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　よい電子掲示板について考える。	・ 電子掲示板にどんな書き込みがあるとうれしい気持ちになりますか。	・ ふだん，使っている様子から，よい例を考えて話し合わせたい。
２　よくない掲示板について考える。	・ どんな書き込みがあるといやな気持ちになりますか。	・ どんなことに注意しながら書き込んでいるかという視点で話し合わせてもよい。
３　電子掲示板に書き込むときのマナーについて考える。	・ 掲示板やチャットを使うときに，どんなことを大切にしたらいいのだろう。	・ 掲示板の内容にすぐに反応して，感情的な文を書き込む行為がさまざまなトラブルに発展する可能性があることを知らせたい。 ・ たくさんの人が見ていること，相手の立場に立って情報発信することの大切さについて考えさせたい。

３．評価

電子掲示板に書き込むときには，画面の向こうに人がいることを意識して，見る人の気持ちを考えて書き込むことが大切であることが分かったか。

４．板書計画

●よい掲示板

楽しい　やさしい
情報交換
気持ちを
うけとめてくれる

●よくない掲示板

こわい　らんぼう　けんか
こたえてくれない　むしする　意味のない文字を書く
いやがらせ　悪口　おどかす
すぐに反応しないこと！

みんなが見ている　みんなが気持ちのよい　見る人の気持ちを考えて

４年１２月　見ている人が楽しい気持ちになるにはどんな書き込みをすればいいのだろう。

電子掲示板（でんしけいじばん）やチャットを見ている人の気持ちを考える

世界中の人がみているかもしれません。
送信する前にもう一度読み返して言葉の使い方や読みやすさを確かめましょう。

楽しい電子掲示板

・楽しい話題がある

・ていねいな言葉づかいで書く

・やさしいふんい気がある

・よみやすい

・ みんなが安心して意見交換（こうかん）できる

・ 気持ちをうけとめてくれる

参加したくない電子掲示板

・書いたことにひなんばかりをする

・らんぼうな言葉やきたない言葉をよく使う
・人をこうげきする書き込みをする

・勝手に意味の分からないことや記号を書き続ける
・なりすましたり，うそをついたりする

・わざと無視（むし）をしたりおどかしたりする。

もし何かのきっかけでトラブルになりそうな時は
- **すぐに反応しない　・少し時間をおく**
- **まずていねいにあやまってみる**
- **困っていたら元気のでるアドバイスをしてみる**

困ったときには，一人でなやまず，おうちの人や先生にすぐに相談しようね。

あなたは，どんな書きこみをしたいと思いますか？

４年２月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・安易なダウンロード等の行為は，自分のコンピュータだけでなくネットワークそのものを壊す可能性があることを知り，ウィルス被害に遭わないようにするためにどうすればいいのかを考える。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　ダウンロードをした経験について話し合う。	・ データのダウンロードをした経験がありますか。	・ 具体的に，どのようなデータをダウンロードをしたことがあるのか，交流させたい。
２　ウィルス被害について知る。	・ 安易にデータをダウンロードしたり，添付ファイルをあけることで，大変なことになることを知っていますか。	・ 安易なダウンロードやデータの展開でどのような被害があるのか，具体的な事例を通して知らせたい。
３　データをダウンロードしたり開いたりするときに，どんなことに気をつかればよいか，考える。	・ ダウンロードするときには，どんなことに気をつければいいのでしょうか。	・ ダウンロードは自身の責任で行うことを知らせ，少しでも危険だと判断できるファイルはダウンロードしたり開けたりしないことを知らせたい。また判断にまよった時は，おうちの人や先生に相談すればよいことを知らせたい。

３．評価

安易なダウンロード等の行為が，ネットワークそのものを壊す可能性があることを知り，ウィルス被害に遭わないようにするためにどうすればいいのかを考えることができたか。

４．板書計画

●ダウンロード　　もしウィルスが入っていたら

コンピュータウィルスに感染

自分のパソコンが使えなくなる

ネットワーク上のみんなのパソコンにも被害

自分を守る

危険なダウンロードは絶対しない　こまったら相談する

ウィルス対策ソフトを入れる（おかしかったらすぐにケーブルをはずす）

４年２月　インターネットでは，何でもすぐにダウンロードしてもいいのでしょうか。

ダウンロードする前に，ちょっとまった！

□　あなたにとって信用できるホームページですか？
□　それはあなたにとって必要なデータですか？

□　あなたのコンピュータには，ウィルス対策(たいさく)ソフトは入っていますか？

□　あなたのコンピュータのブラウザは，最新版(さいしんばん)が入っていますか？

□　おうちの人や，先生からＯＫをもらいましたか？
（お金はかかりませんか？）

ダウンロードできるデータの中には，コンピュータウィルスが含まれていることがあります。

いいかげんな気持ちでダウンロードして，もしコンピュータウィルスにかかってしまったら，あなたのコンピュータだけでなく，つながっているすべてのコンピュータが使えなくなることがあります。

ダウンロードをするときには，よく考えて下さい。

電子メールの添付ファイルも同じことです。
必要のないものや知らないファイルはぜったいに開けてはいけません。

ダウンロードするときに，どんなことに気をつけたいと思いますか？

インターネットによる「情報モラル」学習　年間指導計画　５年

	指　導　内　容	指導上の留意点
４月 ２５分	**インターネットを使って交流するときには，どんなことを大切にすればいいのでしょうか。** ・電子掲示板やチャットなど匿名で参加できるネット社会の特性を知り，簡単にできる「なりすまし」がどれほど人の気持ちを傷つけるものになるか，考える。	顔が見えないからといって，うそをついたり人の悪口を書いたりすることが人の心を傷つけることになる事を知り，掲示板に参加する上で大切にしたいことについて考えさせたい。
７月 ２５分	**自分に関係のないメールがきたときには，どうしたらいいのでしょうか。** ・安易なメールの返信は，個人情報が漏れることにつながることを知り，自分を守るために，差出人のわからないメールは基本的に破棄・無視することが必要であることの意味について考える。	知らない人からのメールには何らかの意図があることを知り，自分に関係のないメールがきた時にどうしたらいいのか，考えさせたい。また，メールを安易に転送することは元のメールの差出人や受取人の両方が困ることになることを知り，メール作成のマナーについて考えさせたい。
１２月 ２５分	**すてきなホームページをつくるには，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。** ・インターネットで情報を発信するときは，だれが見ても気持ちのよい情報や正しい情報の掲載が大切であることを知り，責任をもって情報発信できるように大切にしたいことについて考える。	世界中の人が簡単にホームページを見ることができることを知り，自分が作るホームページの内容に責任をもって発信するために，どんなことを大切にすればいいのか，考えさせたい。
２月 ２５分	**インターネットを興味本位で使うことは，どんな危険な可能性につながるのでしょうか。** ・興味本位で自殺や薬物に関するサイトをさがしたり，安易にオンラインショッピングに参加したりすることが，自分の生活に重大な影響を与えることにつながる場合があることを知り，よりよいインターネットの使い方を考える。	インターネット被害の例示から安易な気持ちや興味本位で利用をすることがどれほど危険なことにつながるかを知り，正しい使い方について考えさせたい。

５年４月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・電子掲示板やチャットなど匿名で参加できるネット社会の特性を知るとともに，「なりすまし」やうその書き込みがどれほど人の気持ちを傷つけるものになるかを考え，よりよりインターネットの活用方法を考える。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　電子掲示板やチャットの特性について知る。	・「なりすまし」行為を知っていますか。	・インターネット上ではハンドルネームを使うことが多いが，それを悪用して別の人格になりすまし，よくない使い方をする人がいることを知らせたい。
２　「なりすまし」による悪影響について考える。	・「なりすまし」で，乱暴な言葉やきたない言葉を使ったり，悪口を言ったりすることは，どんなことにつながるのでしょう。	・なりすますことによってよくない使い方をした場合，たくさんの人がいやな思いをすることを考えさせたい。
３　ハンドルネームであっても，どんなことを大切に使うべきなのかを考える。	・掲示板やチャットを使うとき，どんなことに気をつければ楽しい交流ができるのでしょう。	・参加している人や見ている人の気持ちを考え，ハンドルネームで交流することが基本であるが，校内Ｗｅｂなどでは自身の発言に責任をもつために，堂々と名乗る方がよい場合があることを知らせたい。

３．評価

情報を受ける人の気持ちになって，どのような書き込みをしたらいいのか，またどんなことをしてはいけないのか，考えることができたか。

４．板書計画

● 「なりすまし」　とは

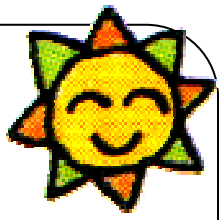
自分をかくして　別の人格になりすまして　　ハンドルネームが基本

みんながみているのに　　校内では自分の名前を

うそをつく・悪口をかく　　責任をもって情報を発信

読む人の気持ちになって書きこみをする

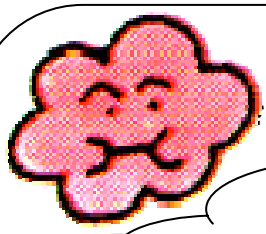
５年４月　インターネットを使って交流するときには，どんなことを大切にすればいいのでしょうか。



自分の発言には責任（せきにん）をもちましょう。

言葉を選んで，ていねいに意見を書きましょう。

アドバイスや返事をもらったら，「ありがとう」という気持ちを表しましょう。



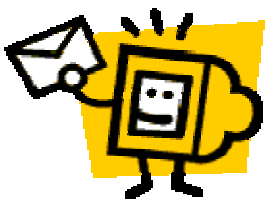
こみをみるとどんな気持ちになりますか？

うそ　いいかげんな情報　らんぼうな言葉
きたない言葉　人をののしる言葉
人の悪口　いやがらせ

顔が見えないからといって，うそをついて，あたかも別人のように**なりすますこと**はかんたんにできます。でも，年れいや性別，名前などについて電子けいじ板にいやがらせや人の悪口を書いたり，人をだましたり，おどかしたりする人がいたら，あなたはどう思いますか。

画面のむこうには人がいます。見る人の気持ちになって，書き込みをすることが大切ですね。

インターネットで交流するときは，どんなことを大切にしますか。



５年７月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・自分に関係のないメールがきたときには，どうしたらいいのか，対処の仕方について考える。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　メールを受け取ったとき，どうすればよいか考える。	・ 知らない人からのメールやいやな内容のメールがきたら，どうしたらいいのでしょうか。	・ 絶対に返事をしない，内容がなんであってもすぐにすてる，不安になったらすぐにおうちの人や先生に相談することがよいことを知らせたい。
２　しつこいメールや知らない人からの添付ファイルのあつかいについて知る。	・ なんどもしつこく送られてくるメールはどうしらいいでしょうか。 ・ 添付ファイルをあけてもいいのでしょうか。	・ 何度もしつこく送られてくるメールは，あとで身を守るための証拠になるので，削除せず，保存してすぐにおうちの人や先生に相談することができることを知らせたい。
３　電子メールの受け取り方についてまとめる。	・ メールを受け取るときに大切にしたいことをまとめましょう。	・ 知らない人からとどいたメールの添付ファイルはまず開けないことと安全を確認してから開けることが大切であることを知らせたい。

３．評価

知らない人からの電子メールを受け取った際にどうすればよいのか，考えることができたか。

４．板書計画

● 知らない人からの電子メール

すぐに返事をしない

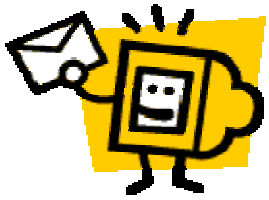
返事をせずにすてることも大切　しつこいメールは保存してから大人と相談

安易にメールを転送しない（個人情報がもれる可能性）

自分の身は自分で守る姿勢

５年７月　自分に関係のないメールがきたときには，どうしたらいいのでしょうか。

知らない人から電子メールがとどいたよ。
でも，だれが，なんのためにメールをくれたのかな？
よく考えてみよう。



知らない人からメールがきたら・・・

すぐに開けないこと
　ウィルスが入っていることもあります。
すぐに返事をしないこと
メールを転送しないこと
　電子メールのアドレスや，個人情報がもれる可能性があります。

知らない人から電子メールがきたら，どうしますか？

関わらないこと！
返事をせずに捨てることも大切です。

５年１２月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・だれがみても気持ちのいいホームページとはどんなものかを考える。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　よいホームページとは何か，考える	・ よいホームページとはどんなものでしょうか。	・ どんなホームページがよかったのか，子どもたちの経験から話すことが出来るようにしたい。
２　見る人の立場や気持ちになって，どんなホームページをつくればよいか考える。	・ 見る人の気持ちになって考えたときに，どんなことが必要なのでしょうか。	・ 誰が見ても気持ちのよい内容を掲載することが大切であるという視点を与えたい。また写真や文の掲載においては著作権を意識させたい。
３　ホームページを作るときのルールやマナーについて考える。	・ すてきなホームページにするために大切にしたいことはなんでしょうか。	・ ホームページを作成するときの細かいマナーについては，指導者の方より例示したい。

３．評価

見る人の気持ちに立って，よりよいホームページをつくるために大切にしたいことを考えることができたか。

４．板書計画

● すてきなホームページとは

デザイン　色　構成　　だけ？

＜みんなが見ている＞

だれが見ても気持ちのよい情報

正しい情報

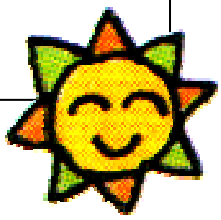
責任をもって情報発信

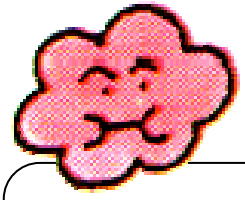
５年１２月　すてきなホームページをつくるには，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。

世界中の人がみているホームページです。

正しい情報を発信すること・ページの内容に責任をもつことが

一番大切なことです。





だれがみても，気持ちのよいホームページになるように
よく考えてつくりましょうね。

ホームページで情報発信するときに，してはいけないことや，注意し

なくてはいけないことはなんだろう？

あなたはどう思いますか？

友だちなどの悪口，興味本位（きょうみほんい）の話や，いいかげんなうわさ話，見る人を混乱させるような内容，　必要以上のプライバシーに関わる話，許可をもらっていない人の作品

世界中の人がみていることを意識することが大切ですね。
残念な話ですが，ホームページの個人情報がもとになって，事件にまきこまれたりする可能性があります。また一部には，ホームページの情報を，いやがらせや商用目的に利用する大人もいます。
情報を発信するときも，ちょっと先のことを考えて，むやみやたらに「公開」することのないようにしましょう。それが「自分で自分を守ること」にもつながります。

ホームページをつくるときに，どんなことを大切にしますか？

５年２月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・インターネットを興味本位で使うことが，どんな危険な可能性につながるのかを知りよりよいコンピュータの使い方を考える

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　事例から考える。	・　１８歳未満は入ってはいけませんというページを見たらどうしますか。	・　まず一例を出して，子どもたちに考えさせたい。
２　具体的な事例を知る	・　「見るだけで大変な損害がおきる」ホームページがあるとしたら，あなたは見ますか。	・　具体的な被害事例などを出して説明したい。
３　何を大切にして判断すればよいか考える。	・　何を大切にしてホームページをみたらいいのでしょうか。	・　自分の考えや生き方に照らし合わせて，自分には直接関係ないページには基本的に立ち入らないことを判断させたい。

３．評価

興味本位でインターネット活用をすることは，危険な状況に巻き込まれる可能性があることを知り，自分自身で情報を判断し選択することが大切であることが分かる。

４．板書計画

● １８歳未満は入ってはいけません　　ちょっと先のことを考えて

はいる　　はいらない

＜本当に必要な情報？＞

見てから判断しても，大丈夫な情報？

人の命に関わるサイト

金銭トラブル　　クレジットカード番号

自分を大切に

５年２月

インターネットを興味本意で使うことは，
どんな危険な可能性につながるのでしょうか。

あぶない！
立ち入り禁止

スキー場で，こんな立て札をみつけました。あなたはどうしますか？

本当にあぶないのかどうか，たしかめてみる。

ぜったいにはいらない。

もちろん「ぜったいに　はいらない。」を選ぶことと思います。危険な思いをしてからでは，おそいですね。

インターネットの世界でも同じ事がいえます。しっかり自分で判断しないといけませんね。たとえば，こんなホームページがあるのです。

クリックするだけで，何万円ものお金を請求してくるホームページ

クリックするだけで，ウィルスが入ってくるホームページ

クリックすると，いやな気持ちになるメッセージや画像が流れ出すホームページ

インターネットは，すばらしい道具ですが，使い方によっては，自分の命に関わる場合もあります。また，知らず知らずのうちに人を傷つけることもあります。被害者・加害者にならないように，しっかりめあてをもってインターネットを活用しましょう。

「おかしいな」「こまったな」というときは「戻る（もどる）」ボタンで前のページにもどりましょう。

あなたは，インターネットをどのように使いますか？

インターネットによる「情報モラル」学習　年間指導計画　６年

	指　導　内　容	指導上の留意点
４月 ２５分	**インターネットを使って交流するときには，どんなことを大切にすればいいのでしょうか。** ・電子掲示板やチャットでもし誤解が生じたときは，会える友達なら保護者や先生など，第三者を交えて直接あって話をすることが大切であることを知り，「書き言葉」で気持ちを伝えるときに大切にすることは何かについて考える。	受け手の気持ちを考えてメッセージの発信をすることが大切であることを考えさせたい。また，トラブルが発生したときの解決の方法を考えさせたい。
７月 ２５分	**インターネットの情報が正しいかどうか，「自分で判断」するために，どんなことを大切にすればいいのだろうか。** ・様々なインターネットからの情報を正しく判断するときに謙虚な気持ちと思いやりの心が大切であることを知り，情報をバランスよく正確に判断するために，どんなことを大切にすればよいのかを考える。	インターネットに掲載されている情報の真偽を判断するために，他を疑うだけでなく，自分自身の考え方やものの見方を謙虚に見直すことも必要であることを知らせ，考えさせたい。
１２月 ２５分	**すてきなメールを作るには，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。** ・電子メールで文字を使うときは，声や表情が伝わらないので，話したい内容が正しく伝わるようにていねいな言葉遣いをするよう十分に注意する必要があることを知り，発信する前に必ず見直すことの大切さについて考える。	書き言葉で気持ちを伝える時には，受け手の気持ちを考えてどのような言葉遣いが望ましいか考えさせたい。また，一度送ったメールは回収できないので，誤字や安易な表現で誤解を招かないよう，送る前に必ず見直すことが大切であることを考えさせたい。
２月 ２５分	**どんなことを大切にしてコンピュータを利用したらいいのでしょうか。** ・「チャット依存症」のように，コンピュータに夢中になりすぎると，自分の生活でどんな悪影響が生じてくるのかを知り，正しい使い方を考える。	インターネットに依存しすぎると，健康面だけでなく，利用者の生き方にも影響がでてくる場合があることを認識し，節度ある健全な利用の仕方について考えさせたい。

６年４月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・「書き言葉」で気持ちを伝えるときに大切にすることは何かについて考える。

・電子掲示板やチャットで誤解が生じたり攻撃的なやりとりになってしまったとき，どのようにして解決をしていけばいいのか，考える。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　書き言葉中心の世界について考える。	・「書き言葉」が中心の電子掲示板やチャットでは，どんなことに気をつけたらいいのでしょうか。	・顔が直接見えないので，気持ちが伝わりにくい場合があることを知らせ，「気持ちよく会話をするために」という視点で話し合わせたい。
２　もしケンカになったら，どうすればよいのか考える。	・意見が食いちがったり，ケンカになったりしたら，どうしたらいいのでしょうか。	・いったん書きこみをやめて時間をおくようにしたり，第三者を交えて直接あって話し合ったりするなど，解決の方法について考えさせたい。
３　インターネットで交流するときに大切にしたいことについてまとめる。	・電子掲示板やチャットでは，どんなことを大切にして交流をすればいいのだろう。	・画面の向こうでいつもたくさんの人が見ていることを意識して交流ができるように話し合わせたい。

３．評価

「書き言葉」中心のインターネットの世界で，どんなことを大切にして交流をすればよいのかを知り，相手とケンカになってしまったときにどうすればよいのかを考えることができたか。

４．板書計画

●書き言葉中心の世界
表情がわからない
ごかいが生じやすい
　ていねいな言葉遣い
　読む人の気持ちを考えて発信
　みんなが見ている

●もしケンカになったら
例　ていねいなことばであやまる
　　インターネット上での会話をやめる
　家族や先生に相談する
　直接会って話をしてみる（大人といっしょに）
　ひとりでなやまない

６年４月

インターネットを使って交流するときには，どんなことを大切にすればいいのでしょうか。

電子けいじ板・チャットで困った時，どうしたらいいの？

「書き言葉」が中心だからこそ相手の気持ちを考えてね。

①　腹が立ってもすぐに反応しないでね。
一日おいて，れいせいになって考えよう
相手が何を伝えたかったのか考えてみよう
しばらく「見ない」ことも大切

②ていねいなことばであやまってみよう。
まちがいがあるかもしれないね。まずあやまってみよう。
こまっている友だちがいたら，アドバイスしてあげるのもいいね。

③学校のお友だちだったら，先生といっしょに話し合いをするのも一つの方法だね。
だれか大人の人といっしょに，直接会って話すことでごかいもとけるよ。

④管理者にさくじょをお願いする。
場合によってはプロバイダに直接れんらくをして消してもらおう。

トラブルにまきこまれないように
- 自分の考えに合わない電子けいじ板サイトには行かない
- 参加するならよく選んでから
- 悪口やあやしい情報，変な写真のサイトは行かない
- 人の心を傷つける発言を見たときは，解決するためのアドバイスを送ることも大切

どんなことに気をつけたいと思いますか。

電子掲示板・チャットをつかうときの３つの約束

①相手の気持ちを考えよう　　悪口を書かない　根拠のないうわさを書かない
根拠のない情報は書かない

②自分の発言に責任をもとう　　基本はハンドルネーム　でも発言は，しんちょうに

③個人情報は基本的に書かないようにしよう

６年７月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・インターネットの情報が正しいかどうか,「自分で判断」するために，どんなことを大切にすればよいのかについて考える・

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　自身が困ったり悩んだことがないか，想起する。	・ インターネットの情報が正しいかどうか，悩んだり考えたりしたことはありませんか。	・ 子どもたちの経験をもとに話し合いができるようにしたい。
２　インターネット上の情報を判断するためのポイントを知る。	・ 自分で判断するために，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。	・ インターネット上の情報を判断するための視点を知らせ，考えさせたい。
３　情報に対する考え方を振り返る。	・ どういう姿勢で，情報を見つめることが大切なのでしょうか。	・ 自分自身の考え方や判断基準について再度振り返ることを通して困ったときや悩んだときに柔軟な考え方ができるようにしたい。

３．評価

インターネット上の情報の見方について，自分自身の経験を振り返りながら考えることができたか。

４．板書計画

● 「自分で判断」するために

ホームページの情報の見方　　自分自身の考え方・見方はどうだろうか

「自分で考える」ためのどうすればいいのだろう

「人権のものさし」をもつ

ちょっと先のことを考えてみる

６年７月　「自分で判断」するために，どんなことを大切にすればいいのだろうか。

自分で考えるということは，どうすることなのでしょう。

けいじ板やチャットをはじめインターネット上の情報を見たとき，**自分はどうしたらいいのだろう？**と考えることはありませんか。こまったときやなやんだとき，ちょっと腹がたってしまったときなど，ちょっとヒントにしてみて下さい。

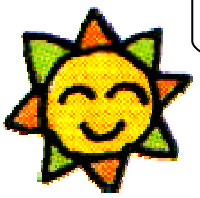
①自分で考えていること，知っていることはすべて正しいのですか？
あなたは絶対に（１００%）正しいのですか？
（いつも相手が悪いのだと決めつけていませんか？）
「ありがとう」という感謝の気持ちがありますか？

②ちがう立場や意見を受け入れられますか？
相手の気持ちを受け入れるやわらかい心がありますか？
もし自分がまちがっていたら，あやまったり，まちがいを直したりする素直な心を持っていますか？

③理由がありますか？
はんだんする基準は何ですか？
へんけんで物事をみたり，差別的なものの見方をしたりしていませんか？
うわさにふりまわされていませんか？
「人権のものさし」をもって，相手の考えや自分の考えを見ていますか？

なやんだとき，こまったとき，ちょっと未来の「自分の姿」をそうぞうしてみるのもいいですね。

あなたは，「自分で判断」するときに，どんなことを大切にしますか？



６年１２月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・受け取った相手の気持ちを考えたときに，どんなメールをつくって送信することが大切なのかを考える。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　メールを作成するときに大切にしてきたことについて話し合う	・ メールの文を作るときにどんなことに気を付けて，書いていますか。	・ 経験を想起させて考えさせたい。また，どんなメールが届いたら，いやな気持ちになってしまうのかを例示することで考えさせたい。
２　気持ちのよいメールの文について考える。	・ どんなことを大切にしてメールを作ればいいのでしょうか。	・ よい例や作るときの例を挙げながら考えさせたい。
３　送信するときに大切にしたいことについて考える。	・ どんなことに気を付けてメールを送ればいいのでしょうか。	・ 受け取る相手の気持ちを考えて，送る前に必ず見直す習慣を付けることが大切であることを知らせたい。 ・ 人のメールを勝手に転送することは，多くの場合，心を傷つけることにつながることを知らせたい。

３．評価

メールの文を作ったり，メールを送信したりするときに，受け取る相手の気持ちになって行うことが大切であることが分かったか。

４．板書計画

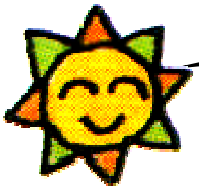
●メールを作るとき
ていねいな言葉
うそはかかない
見やすくする

●メールを送るとき
取り返せない　**かならず見直す**
まちがったら　すぐに訂正のメールを
勝手に人のメールを転送しない

受け取る相手の気持ちになって

６年１２月　すてきなメールを作るには，どんなことを大切にしたらいいのでしょうか。

もらってうれしい気持ちになるのは，
どんな電子メールですか？



もらって残念な気持ちになるのは，
どんな電子メールですか？

電子メールを一度送ると，取り戻すことができません。
必ず見直しをしてからだすようにしましょう。

受け取る人の気持ちを考えて，電子メールを送りましょう。

もしまちがって送ってしまったら，すぐにまちがいをなおした電子メールを送ったり，「ごめんなさい」とあやまったりしましょう。それと，人の電子メールを勝手に他の人に送るのはマナー違反（いはん）ですよ。

あなたはどんな電子メールをだそうと思いますか？

６年２月「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・インターネットに夢中になりすぎてしまうと，どんな悪影響があるのかを知り，コンピュータを活用するときにどんなことを大切にしたらいいのかを考える。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　「チャット依存症」について知る ２　夢中になりすぎると，どんな悪影響があるのか考える。	・「チャット依存症」とは何か，知っていますか。 ・「チャット依存症」のどんなところがよくないと思いますか。	・具体的な例を示しながら提示したい。 ・「チャット依存症」のどのような点が健康面や精神的な面によくない影響を与えているのか，具体的な例を紹介したい。
３　「チャット依存症」に陥らないようにするために，どうすればいいのか，話し合う。	・チャット依存症にならないようにするために，どんなことを大切にしながらコンピュータを使えばいいのでしょうか。	・「チャット依存症」が，利用者の生き方に悪影響を及ぼすことを知らせ，どうすれば，健全な使い方ができるのか，子どもたちにルールを考えさせたい。
４　自分ならどうするのか，具体的な行動目標を決める。	・今日の学習を通して,「自分ならこうする」という目標を決めることができましたか。	・自分の行動を振り返りながら，それぞれの目標を発表することで，学習のまとめを行いたい。

３．評価

「チャット依存症」が及ぼす影響について考え，自分の行動を振り返りながら，これからのコンピュータ活用について，目標を決めることができたか。

４．板書計画

●「チャット依存症」とは
ヴァーチャル
コミュニケーション中心
とくめい性
一方通行の情報発信が可能

●どんなえいきょうがあるのかな？
いごこちのいいヴァーチャル空間　せまい考え方
現実の社会に戻れない　人間関係がきはくに
食事・すいみん時間をけずってしまう

●どうしたらいいのかな？
利用時間を守る　会話をする

自分を大切に

6年2月　どんなことを大切にしてコンピュータを利用したらいいのでしょうか。

インターネットに夢中になりすぎていませんか？

＜自分のコンピュータの使い方を，チェックしてみよう。＞

① たいくつなときに，まずインターネットで，なんとなく何かをさがすということがよくある。

② 夜おそくまでインターネットを使っていてねぶそくになり，朝なかなか起きられないことがよくある

③ インターネットで時間を使いすぎたために，ほかのことがうまくできなかったことがよくある。

④ 友だちと楽しく話をするよりも，一人でだまってインターネットを使っている方が楽しいと感じることがよくある。

⑤ 毎日見ないと気がすないホームページや，毎日書き込まないと気がすまない電子掲示板がある

⑥ インターネットを使わないと元気がないが，使い始めると急にうれしくて，とても楽しい気持ちになることがよくある。

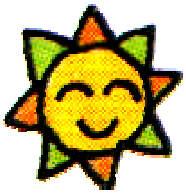
⑦ 電子メールの返事や掲示板の返事がきていないか，よく気になる。

⑧ インターネットを使うことを禁止されて，いらいらしてしまったことがある。

⑨ 気がついたら，思っていたよりも長時間，インターネットを使っていることがよくある。

⑩ インターネットを使っていて，今までの自分とは違う乱暴（らんぼう）な発言や書き込みをしてしまったことがある。

これからコンピュータとなかよくつきあうためにどうしたらいいのかな？



高度情報通信ネットワーク社会に生きる子どもたちに育てたい資質

(指導者用参考資料)

噂などをうのみにしないこと

人を公平にみること

えらぶ

セキュリティ
健康

著作権を尊重
情報の正しい利用

情報の受け手として

どこから？
だれが？
何のために？

Webページ

正しい情報

まちがった情報
不必要な情報
うそ（だます）情報

有害攻撃

電子メール

正しいメール

めいわくメール

不必要な情報には「関わらない」という強い意志や決断力も必要

(命・生き方・心)

自分の人権を

大切にする

相手の人権を

(命・生き方・心)

考える

文字を媒介とした間接経験
コミュニケーション
直接経験（出会う，電話等）

人との出会いを大切にできる心

情報の送り手として

責任をもつ

画面の向こうに
友だちの笑顔

受け手の気持ちを
考えて発信

正しい情報
人を守る情報

トラブルを回避する知恵
トラブルに対処する知識

ひとりひとりがたいせつにされるネットワークにしましょう。

Webページ

正しいじょうほう

まちがった
ひつようのない
うそ（だます）じょうほう

こうげき

じぶんで
えらぶ

ウィルスは？
けんこうは？

じょうほうの
うけ手として

どこから？
だれが？
何のため
に？

ちょっと先の
事を考える

（命・生き方・心）

電子メール

正しいメール

めいわくメール

自分の人けんを
大切にする
相手の人けんを

コミュニケーション

相手の気持ち
を考える

（命・生き方・心）

じょうほうの
おくり手として

せきにんを
もつ

がめんのむこうに
友だちのえがお　(^_^)/

うけ手の気持ちを
かんがえて

正しいじょうほう
人をまもるじょうほう

トラブルにあわないくふう
まきこまれないくふう

中学校「情報モラル」学習　年間指導計画・指導案について

インターネットは，今を生きる私たちにとって，欠くことのできない大切なものとなっています。しかし，一方ではインターネットを使った新たな人権侵害事象や犯罪が起こっている現実があります。教育現場ではそのような実態を踏まえて，児童・生徒が誤った情報や有害な情報に惑わされたり，犯罪に巻き込まれないようにするための教育を必要としています。また，安心してインターネットを活用するために，社会的なルールやマナーを身につけ，豊かな人権感覚を持って，情報発信・受信できる児童・生徒の育成が求められています。

指導者である私たちは，その要望に応えるためにもインターネット技術の発展と同様にネットワーク社会は完成されたものでなく，これからも変遷していくものであると認識し，新たな課題を生じるものと捉え，人権尊重に重点を置いた情報モラル教育をすすめる必要があります。

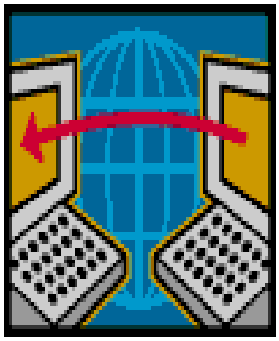
この情報モラル学習は，インターネットの活用を通して，相手や自分を大切にするという人権尊重に主眼をおいてすすめています。そして，３年間で，学年・操作経験に関係なく，学校や地域の実態，生徒の実態に応じて選択できる構成にしました。

各学年３回（１回約２５分程度）を目途にインターネット上で発生しやすいトラブルを中心に，さらに，「発信者としての自覚と責任」という項目や「受信者としての責任」という項目で，自分自身と相手の人権を大切にするという視点で構成してあります。

指導においては，「～してはいけない」という知識にとどまらず，「なぜしてはいけないのか」を児童・生徒自身に考えさせ，正しく判断し，正しい行動に移せる態度を育成することが大切です。万が一，トラブルに巻き込まれたときは自分一人で解決するのでなく，親や関係機関や有識者への相談などをすることを具体的に取り上げて指導することが望ましいと考えています。

中学校版　「情報モラル」学習　指導内容一覧表

	電子メール		電子掲示板・チャット		WEBページ		ネット売買	
①	相手	電子メールで，どうすれば相手に自分の気持ちを伝えることができるか考えてみよう。また，トラブルになったときの対処について学習しよう。	相手	電子掲示板やチャットでの書き手としての注意事項やマナーについて考えてみよう。また，トラブルになったときの対処について学習しよう。	相手	WEBページを使って，情報収集するためには，どんなことに注意をすればよいか考えてみよう。	自分	ネットショッピングや，ネットオークションを利用する上での注意事項やネットショップ等での売買での注意事項を考えてみよう。
		電子メールは，しゃべり言葉のままであったり，相手の顔がみえなかったりしたとき，どんな書き方をすれば，相手に自分の気持ちが伝わるだろうかを考えることを通して，発信者としてのマナーを考えさせる。また，トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。		電子掲示板やチャットの性質を知り，「書き手」として，記入する上で大切なことはなにかを話し合わせたり，考えさせて，電子掲示板やチャットの記入上の注意事項やマナーを指導する。また，トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。		WEBページの内容については，正確であるか，新しいものであるかなど，各人が責任を持つことになっている。そこで，受ける側としてどのようにして確認すればよいか，どんな点に注意すればよいかなど，注意事項やモラルを指導する。また，トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。		安心して購入したり，ネットショップを開設するためのネット上での売買についての注意事項やマナーを指導する。また，トラブルにあったとき，どのようにすればよいかを話し合わせたり，考えさせたりして，正しい解決の方法を指導する。
		発言責任・書き方・信頼性		誹謗・中傷・発言責任・チャット・なりすまし		有害ページ・有料ページ・出会い系サイト・内容の真偽確認・自己責任		賢い消費者・トラブル相談窓口
②	自分	チェーンメールについてどんな点が間違っているのか，どのように対処するか考えてみよう。	自分	電子掲示板での受け手（読み手）としての注意事項やマナーについて考えてみよう。	自分	WEBページを作成する上の注意しなければならないことは，何かを考えてみよう。		
		「不幸の手紙」のように，不特定多数に出すチェーンメールについて，出す側・受ける側の気持ちを考えさせて，防止・阻止するための方法を指導する。		電子掲示板の性質を知り，利用上の注意点を話し合ったり，多くの人の意見を聞いたりなど，受け手（読み手）としての注意事項やマナーを指導する。また，トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。		WEBページは，見るものが内容を見極め，判断することが求められていますが，作る側の責任やモラルや著作権・肖像権・個人情報などを指導する。また，トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。		
		無視・受け手の気持ち・ウイルスメール		多様性・質問・コメント・信憑性		発信責任・誹謗・中傷・個人情報・肖像権・著作権・ストーカー行為		
③	自分	メールを受けたり読んだりするとき，どんなことに注意をすればよいかを考えてみよう。	相手	電子掲示板やチャットを利用するとき，個人情報等で注意しなければならないことを考えてみよう。				
		メールには，不愉快な内容や，虚偽の情報などが含まれたりしている。こんな場合，どのように対処すればよいかを考えたり話し合わせて，受信者としてのマナーを指導する。		電子掲示板やチャットの負の性質を知っていろいろな情報を読んだり，見たり，書いたりして，相手がどんな気持ちになるかを考えさせると共に，コミュニケーション・個人情報の大切さを指導する。				
		虚偽情報・確認		誹謗・中傷・発言責任・コミュニケーション				



インターネットは「匿名性」や「仮面性」を持っていますが，決して特別な世界ではありません。現実の社会と同様に，人の人権を傷つけることや犯罪などの行為は決して許されないことです。インターネットでも，他の人々の人権，そして自分の人権を大切にしましょう。

自分	主に自分を「守る」「大切にする」視点から作成
相手	主に相手を「守る」「大切にする」視点から作成

インターネットによる「情報モラル」学習　学習計画　電子メール編

	指導内容	指導上の留意点
①	**電子メールでどうすれば相手に自分の気持ちを伝えることができるか，考えてみよう。また，トラブルになったときの対処について学習しよう。** 電子メールは，しゃべり言葉のままであったり，相手の顔がみえなかったりしたとき，どんな書き方をすれば，相手に自分の気持ちが伝わるだろうかを考えることを通して，発信者としてのマナーを考えさせる。また，トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。 （発信責任・書き方・信頼性）	○宛先は，１字違いで，全く知らない人に送られてしまうこともあります。十分確認してから送るように指導する。 ○自分の気持ちを正確に伝えるように指導する。また，相手に不愉快な気持ちにさせる表現は避けるように，発信責任について指導し，考えさせる。 ○トラブルになったとき，自分で解決できないときは，親や先生に相談して正しい解決方法を考えさせる。
②	**チェーンメールについてどんな点が間違っているのか，どのように対処するか考えてみよう。** 「不幸の手紙」のように，不特定多数に出すチェーンメールについて，出す側・受ける側の気持ちを考えさせて，防止・阻止するための方法を指導する。 （無視・受け手の気持・ウイルスメール）	○いたずら目的で「ウイルスメール」を送りつける人，転送を促す「チェーンメール」や大容量のメールを送りシステムを混乱させる人もいます。出所や内容がわからないメールや添付ファイルは開かずに削除するように指導する。また，ウイルスメールなどは開かずに削除するように指導する。 ○チェーンメールは無視して転送しないように指導する。**(たとえ親切であっても絶対に次に送ってはいけないことを知らせる)**
③	**メールを受けたり読んだりするとき，どんなことに注意をすればよいかを考えてみよう。** メールには，不愉快な内容や，虚偽の情報などが含まれたりしている。こんな場合，どのように対処すればよいかを考えたり話し合ったりさせて，受信者としてのマナーを指導する。 （真偽確認）	○話し言葉と書き言葉の違いから，冗談のつもりが本気だと誤解されてトラブルになったりしますので，失礼な内容になっていないか慎重に読み直してから返信するように指導する。 ○個人情報の流失や，誹謗・中傷についても考えさせる。 ○メールの内容をそのまますべて信じてしまうのでなく，真偽を確認することを指導する。

ミニ知識　電子メール編

☆電子メールは，インターネットでつながっているコンピュータが，メールサーバーといわれるコンピュータを通して送受されます。同じメールアドレスは，世界中に二つとしてありません。
☆メールが発信されると，宛先のアドレスが登録されているメールサーバーに送られます，受信者がメール確認（メールチェック）をした時に受信者のコンピュータに送られます。
☆受け取る側は自分の都合のよい時にメールを確認すればいいわけですから，送る側も，相手の時間を気にすることなく送ることができます。また，コンピュータで作った音楽や画像などをメールに添付して送ることもできます。
☆電子メールはコミュニケーションのための手段ですから，自分の気持ちを正確に伝えたり，相手を思いやる，気持ちが大切です。

電子メール①　「情報モラル」学習指導案

1．本時の目標

電子メールで，自分の気持ちを正確に伝えるためにはどのようなことに注意すればよいかを考える。また，トラブルになったときの対処方法を知る。

2．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
1　よくない電子メールについて考える	・今までにもらった電子メールで困ったり，不愉快に感じたメールはどんなものでしたか。	・どんな点が困ったのか，不愉快に感じたのか発表させる。具体的な内容を拾い上げてみる。
2　よい電子メールについて考える。	・今までにもらった電子メールでうれしかったり，気持ちよく読めるメールはどんなものでしたか。	・気持ちよくメール交換ができるのはなぜか，よくないメールとの違いを挙げてみる。
3　電子メールを送るときに大切にすることは何かを考える。	・直接会って話をするときとの違いを考えて，電子メールを送るときに大切にすることは何でしょうか。	・相手の顔が見えないから相手の表情を想像して書くこと，一度送ったメールは取り戻せないので，発言責任があることに気づかせる。 ・書き方次第では，信用をなくすことを知り，必ず見直す習慣をつけることが大切であることに気づかせる。
4　トラブルになったときの対処の方法を考える。	・自分の気持ちが十分伝わらず，相手が誤解してトラブルになったときにはどうしたらよいでしょうか。	・誤解を取り除くために，まず自分の方からあやまることに気づかせる。 ・インターネット社会も現実の社会と同じように迷惑行為はいけないことをわからせる ・自分で解決できないときは，親や先生に相談して正しい解決方法を考えることに気づかせる。

3．評価

電子メールを送るときは，受け取る人の表情を想像しながら，その人の気持ちを考えて，文を工夫したりする，そして，必ず見直すことが大切であることに気づいたか。また，トラブルになったときの対処方法を知ったか。

４．板書計画

・よくない電子メールとは，

わかりにくい件名がついている，乱暴な言葉遣い，攻撃する言葉，汚い言葉，傷つく言葉，何を伝えたいのかわからない，まとめていない，だらだら長い，一文が長い，内容がわかりにくい，たくさんで読みにくい，字の間違いが多い，誰からきたかわからない，など

・よい電子メールとは，

わかりやすい件名がついている，ていねいな言葉遣い，内容がわかりやすい，まとめてあって読みやすい，段落ごとに一行あいている，区切りのところで改行，読みやすいように工夫してある，字に間違いがない，相手がはっきりわかる，など

・電子メールを送るときの注意とは，

①顔が見えないけれど必ず相手がいる。だから，相手の気持ちをよく考えて書く。
②書き方次第で気持ちの伝わり方が変わる。だから，言葉使いをよく考えて書く。
③一度送ると戻せないから必ず内容や電子メールアドレスの見直しをする。
④文字だけのやりとりであるので話し言葉，書き言葉の違いに注意して書く。
⑤個人情報の流出には十分注意する。（他人の情報は書かない）

・トラブルになったら，

①誤解を取り除くために,自分の方からあやまる。
②自分で解決できないときは，親や先生に相談する。

参考事項
※現実の社会において犯罪や社会的非難の対象となる行為は, インターネットの「匿名性」や「仮面性」を持ったて世界でも，決して特別ではなく，絶対にしてはいけません。
※電子メールは「匿名性」や「仮面性」を持っているが，誰彼なしにメールを出すのでなく相手を選んでやりとりをしよう。

参考資料
電子メールと手紙，電話の比較

	電子メール	手紙	電話
即時性	○	△	◎
感情の伝わり	△	○	◎
手軽さ	○	△	◎
拘束性	○	◎	△
一斉同報	◎	○	×

ワークシート　　年　　組　　番　名前

よくない電子メールとは・・・	よい電子メールとは・・・
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

電子メールは，一度送ると取り戻すことができません

電子メールを送るときの注意とは，

①

②

③

トラブルになったら，

①

②

電子メール②　「情報モラル」学習指導案

1．本時の目標

・チェーンメールについて，どんな点が間違っているかを考える。

・チェーンメールを防止・阻止させるための方法を知る。

2．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
1　チェーンメールについて知る	・チェーンメールにはどんなものがあるか。	・「不幸の手紙」「はっきりしないうわさ話」「ウィルスメール」「勧誘メール」「デマ情報」とは，どんなものか例を説明する。
2　チェーンメールの間違いを具体的に知る。	・チェーンメールはどんな点が間違っているのか。	・例の中で，問題だと思われる点を挙げさせる。 ・デマ情報で多くの人に被害が出たり，添付ファイルをクリックしたら，コンピュータウィルスに感染したりして，チェーンメールが，迷惑メールであることに気づかせる。
3　チェーンメールを受け取った場合，どのように対処するかを考える。	・自分が次に回すことで，どのような状況が起こるのか，受け手の気持ちを考えよう。 ・チェーンメールを阻止するために，自分には何ができるかを考えよう。	・自分の対処（無視）で，被害を大きくさせないことができることに気づかせる。**(たとえ親切であっても絶対に次に送ってはいけないことを知らせる)** ・あらゆる情報は，うのみにせず，疑ってかかることが望ましいことに気づかせる。

3．評価

チェーンメールの間違いを正しく知り，防止・阻止させる方法を考えられたか。

４．板書計画

・どんなチェーンメールがあるか

「不幸の手紙」「はっきりしないうわさ話」「ウィルスメール」「勧誘メール」
「デマ情報」など

・チェーンメールの間違いとは，

「デマ情報」で多くの人に被害が出る。たとえば、５人の人にメールを回すことを
　５回繰り返すと５の　５乗で　　３,１２５人に
１０回繰り返すと５の１０乗で　　９,７６５,６２５人に
１２回繰り返すと５の１２乗で　２４４,１４０,６２５人になり２億人を越える。

次に回させるために，恐怖心をあおるような書き方がしてある。
受け取った人だけが得をするような書き方がしてある。
人の弱み（同情させる）につけ込む書き方がしてある。

添付ファイルをクリックしたらコンピューターウィルスに感染したり，ネットワークに多大な負担をかける。など

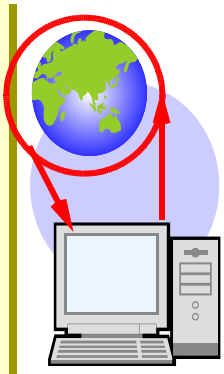
だから迷惑メールである。

・チェーンメールを受け取ったとき，どうするのか。また日頃心がけておくべきことは何か。

①自分の対処（無視）で被害が大きくならない。
②あらゆる情報はうのみにせず，疑ってかかる。

迷惑メールを減らす為のテクニック

迷惑メール防止対策のとしては、アンケートなどには答えない、ホームページはいっさい持たない、親しい人にしかメールアドレスを教えない、メールアドレスを教えた人には自分のメールアドレスを他に漏らさないように頼む、等の措置が考えられますが，現実的ではありません。決定的な方法はありませんが，具体例としては，いつでも捨てられる別名のメールアドレスを用意しておきましょう。アンケートなどに回答する場合や、なんらかの申し込みでメールアドレスの記入・送信が必要なとき、別名のメールアドレスを記入しておくと、頻繁に迷惑メールが来るようになったとき、いつでもそのメールアドレスを捨てることができます。プロバイダーによっては無料のアドレスを配布してくれたりするサービスがあります。



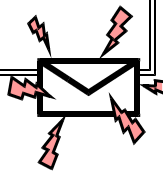
ワークシート　　年　組　番　名前

例　友達の友達からメールが来て頼まれました。友達の友達のお姉さんの犬のブリーダー会社がつぶれてしまい,３ヶ月～６ヶ月のラブラドール３０匹が処分されることになってしまいました。なので飼える人を探しています。お金はいらないそうです。飼えなくてもお友達にこのメールを回してくれたらうれしいです。来週いっぱいがタイムリミットなので時間がありません。おねがいします。

例　おめでとうございます。これは幸福を呼ぶメールです。ただし，このメールを止めてしまうと，あなたに不幸が訪れてしまいます。幸福になりたい人は，このメールの本文を変えずに，24 時間以内に 5 人の人に同じメールを流してください。

例　速報！！6 月 15 日の午後 2 時，京都市民の日を記念して，京都府出身の歌手の・・・・・が京都市役所前に来ます。この情報は，メールを見た人にしかわかりませんので，ぜひ友達にも知らせてください。

例　はじめまして。私は，ウィルス対策研究所に勤めております,・・・と申しますどんなコンピューターウィルスにも感染しないワクチンを開発しました。添付ファイルを開くと，あなたのコンピューターもウィルスに感染しなくなります。どうぞ試してみて下さい。（添付ファイル付）



チェーンメールにはどんなものがあるか

①　　②

③　　④

チェーンメールは迷惑メールである

チェーンメールを受け取ったとき，どのように対処するか
また，日頃心がけておくべきことは何か

①

②

電子メール③　「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・電子メールを受けたり，読んだりするときにどんなことに注意すればよいかを考える。

・不愉快な電子メールや虚偽の情報に対して，どのように対処すべきかを考える。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
1　電子メールを受信したときの気持ちを考える	・友達のうわさ話や悪口のメールを受信したことがありますか。それを読んだとき，どんな気持ちになりましたか。 ・自分の悪口が書かれていたら，どんな気持ちになりますか。	・例を読ませて，自分が受け取ったときの気持ちを想像させる。 ・悪口を書かれた人の気持ちを想像させる。
2　不愉快な電子メールや虚偽の情報の間違いを考える。	・例を見ながら，よくない点を考えよう。 ・なぜ，よくないのかを考えよう。	・例のどんな点が問題かを，グループ内で意見交換させてもよい。 ・個人情報の流出，誹謗・中傷の二つの視点に気づかせる。 ・情報の流出は，本人の名誉が傷ついたり，プライバシーの侵害になることに気づかせる。
3　電子メールを受けたり読んだりするときに，どんなことに注意すればよいかを考える。	・不愉快なメールや虚偽の情報に対して，どのように対処すべきかを考えよう。	・情報は，その信頼性を確認することが必要であることに気づかせる。 ・被害にあったときは，親や先生に相談して正しい解決方法を考えることに気づかせる。

３．評価

メールには，不愉快な内容や虚偽の情報が含まれたりするので，その信頼性を確認することの大切さを知り，また被害にあったときの正しい対処を知ることができたか。

４．板書計画

・友達のうわさ話や悪口の電子メールを受信したときの気持ちは，

気分が悪い，ムカツク，不愉快，信じていいのかどうか，どのように返事を書けばよいか迷う　など

・不愉快な電子メールや虚偽の情報の間違いとは，

　　個人情報の流出と誹謗・中傷の問題。

・電子メールを受けたり，読んだりするときの注意点は，

①その情報の信頼性を確認すること。（情報の発信元・より多くの情報による確認）
②決してうのみにしないこと。
③安易に返事を書かないこと。
④不愉快な内容や腹立たしい内容や挑発的な内容の電子メールが届いたら，冷静に対応すること。時には相手にしないなど，大切なことです。
⑤電子メールの内容を転載したり，他人にそのまま見せてはいけない。
⑥他人や自分の誹謗・中傷の電子メールなどは，無視することが大切です。気になる場合は親や先生に速やかに相談すること。

・被害にあったときの対処は，

・自分一人で対処しようと思わず，親や先生に相談して正しい解決方法を考える。

※現実の社会において犯罪や社会的非難の対象となる行為は，インターネットの世界でも，決して特別ではなく，犯罪や迷惑行為です。

ネットストーカーにねらわれる原因

「ホームページ」，「掲示板」，「チャット」での出会いがもとで、現実的な接点が無いにもかかわらず、顔も住所も知らない全くの他人のストーカーにあうときがあります。

１．被害者のホームページ
・ホームページ掲載写真に一目惚れした。
・ホームページ掲載の個人情報を見て興味を覚えた。
・学校のホームページに、個人情報が掲載されていた。
・ホームページ掲載の「日記」等の個人的な文章を読んで、興味を覚えた。
（日常の行動パターンが分かってしまうと、ストーカーに狙われやすい。）
２．出会い系のホームページ
・出会い系のホームページ・出会い系サイトに詳しい個人情報を掲載している。
３．電子メール
・メール交換を続けている内に、恋愛感情ができ、それがだ　めになった場合。
・メール交換を続けている内に、「ケンカ」状態になった場合。
３．掲示板
・掲示板での応答が原因となる場合も多い。
４．チャット
・電話で会話している場合に近いので，感情が高揚しやすいので，恋愛感情や嫌悪感情のもつれが原因の場合も多い。

ワークシート　　年　組　番　名前

例　この前，私の家でクッキーを作りました。材料はみんな自分の家から持ってきたのにＡ子だけは何も持ってきませんでした。それにエプロンも忘れたのはＡ子だけやった。Ａ子ちゅ～やつは！！腹立つって感じ。それに，できたら先生に渡そうという話になって，みんなは代表で私に渡してほしいと言ったのに，Ａ子はそれぞれが渡せばいいって。どうやら自分だけ男子に渡そうと思ってるみたいでチョームカツク！！！！！ひどいと思いませんか。

友達のうわさ話や悪口のメールを受信したときの気持ちは，

不愉快なメールや虚偽の情報の間違いとは，

メールを受けたり､読んだりするときの注意点は，

①

②

③

被害にあったときの対処は，

右は，平成１６年９月１６日の京都新聞の朝刊に載った長崎県佐世保市で小学 6 年女児の起こした殺害事件の記事です。

一、女児を児童自立支援施設に送致する。個別処遇が望まれ、二年間の強制的措置を許可する

一、女児は怒りなどの不快感情を回避するか相手を攻撃するかという両極端な対処行動しか持たない特性を持つが、精神病性の障害と診断される程度には至らない

一、女児にとって交換ノートやインターネットが唯一安心して自己を表現し、存在感を確認できる「居場所」になっていた

一、女児は現在も被害者の命を奪ったことの重大性や家族の悲しみを実感できていない

家裁支部の決定骨子

佐世保小6女児事件で長崎家裁佐世保支部が認定した小学6年の加害女児(一一)の非行事実は次の通り。

女児は同級生の被害者と交換ノートを交わしたり、インターネットでメールをやりとりするなどの交流があったが、被害者がノートやホームページ上に記載した内容を見ているうちに自分のことをばかにし、批判しているように感じて腹を立て、殺害しようと決意した。

6月1日午後0時20分ごろ、長崎県佐世保市立大久保小学校3階の学習ルームで、カッターナイフで被害者の首などを切りつけ、失血死させた。

認定された非行事実

インターネットによる「情報モラル」学習　学習計画　電子掲示板編

	指導内容	指導上の留意点
①	**電子掲示板やチャットでの書き手としての注意事項やマナーについて考えてみよう。また，トラブルになったときの対処について学習しよう。** 電子掲示板やチャットの性質を知り，「書き手」として，記入する上で大切なことはなにかを話し合ったり，考えさせて，電子掲示板やチャットの記入上の注意事項やマナーを指導する。また，トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。 （誹謗・中傷・発言責任・チャット・なりすまし）	○「匿名性」があることで，不特定多数の人との交流になるので，だれだかわからない人からいわれのない誹謗や中傷を受けたり、また逆に、ほんの軽い気持ちで書き込んだつもりでも、その書き込みが名誉毀損や脅迫といった罪に問われることもあるので記入するときの指導をする。 ○掲示板に書き込むときは，過去の掲示板の内容も読むように指導する。他の人の書き込み内容をよく読み，失礼な内容になっていないか慎重に読み直してから書き込み時の指導をする。また，誤解を招いたときは，すぐに謝るなどの対処をすることを，指導をする。 ○チャットは、「匿名性」と「即時性」があり，自分の発言が不特定多数の人に公開されるということが前提になっていて、この点が電子メールと大きく違うこと指導する。 ○トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。
②	**電子掲示板での受け手（読み手）としての注意事項やマナーについて考えてみよう。** 電子掲示板の性質を知り，利用上の注意点を話し合ったり，多くの人の意見を聞いたりなど，受け手（読み手）としての注意事項やマナーを指導する。また，トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。 （多様性・質問・コメント・信憑性）	○「匿名性」があることで，不特定多数の人との交流になるので，だれだかわからない人からいわれのない誹謗や中傷を受けたりします，不快な掲示内容については，設置者を通じて削除してもらうように指導する。 ○チャットは画面の向こうに人がいるということを指導する。 ○電子掲示板・チャット等は常にその内容の信憑性を確認すること，また確認方法として，書籍や別の媒体を利用することを指導する。 ○直ちに電子掲示板の管理人に削除を依頼する，悪質なときは警察に相談することを指導する。
③	**電子掲示板やチャットを利用するとき，個人情報等で注意しなければならないことを考えてみよう。** 電子掲示板やチャットの負の性質を知っていろいろな情報を読んだり，見たりし，かいたりして，相手がどんな気持ちになるかを考えさせると共に，コミュニケーション・個人情報の大切さを指導する。 （誹謗・中傷・発言責任・コミュニケーション）	○「匿名性」があることで，不特定多数の人との交流になるので，不用意に個人情報を書くことや，他人の噂や情報を書くことはだめだということを指導する。 ○チャット等で議論が沸騰している場合，発言などで，誹謗・中傷の危険性について指導する。 ○発言や書き込みによっては，犯罪に問われることがあるので，発言責任を強く認識させる指導をする。

電子掲示板・チャット①　「情報モラル」学習指導案

1．本時の目標

・電子掲示板やチャットでの「書き手」としての注意事項やマナーについて考える。

・トラブルになったときの対処方法を知る。

2．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
1　電子掲示板やチャットの「書き手」としてよい点を考える。	・電子掲示板やチャットを「書き手」として利用して，よかった点を挙げよう。	・グループで話し合わせてもよい。 ・好きなテーマを選んで，意見を匿名（ハンドルネーム）で自由に書けることや，チャットについてはリアルタイムで交流できることに気づかせる。
2　電子掲示板やチャットの「書き手」としてよくない点を考える。	・電子掲示板やチャットを「書き手」として利用して，よくないと思われる点を挙げよう。	・匿名だから発言の責任感が弱くなり，誹謗・中傷発言を書きやすく，匿名だから「なりすまし」ができることで，相手を簡単にだませることに気づかせる。
3　「書き手」としての注意事項やマナーをまとめる。	・どんなことに注意して，電子掲示板やチャットを利用すべきかを考えよう。	・電子掲示板ではたくさんの人が見ていることを意識して書くこと，たとえ匿名でも相手の立場に立って情報を発信すること，一度送ると取り戻せないから，発言責任があることに気づかせる。
4　トラブルになったらどうするかを考える。	・自分の書き込みでトラブルが生じたらどうするかを考えよう。	・誤解があれば，すぐに取り除くためにあやまることや，自分で解決できないときは，親や先生に相談することに気づかせる。

3．評価

電子掲示板やチャットの「書き手」としての注意事項やマナーを考えることができたか。また，トラブルになったときの対処方法を知ったか。

４．板書計画

・電子掲示板やチャットの「書き手」として，よい点は，

・好きなテーマを選ぶことができる。自分の意見を自由に書き込める。
・匿名（ハンドルネーム）で書き込める。
・チャットについてはリアルタイムで交流できる。

・電子掲示板やチャットの「書き手」として，よくない点は，

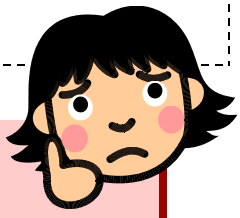
・匿名なので発言責任が弱くなる。誹謗・中傷を書きやすい。
・書き言葉なので，書き方によっては誤解を招きやすい。
・「なりすまし」で相手をだませる。

・「書き手」としての注意事項やマナーは，

①たとえ匿名でも，相手の人の気持ちを考えて書き込むこと。
②書き方に注意して，発言責任をしっかり持つこと。
③一度送ると取り戻すことができないから，送る前に必ず見直しをする。

・トラブルになったときの対処方法は，

①誤解があったときは，すぐに取り除くためにあやまる。
②自分で解決できないときは，親や先生に相談する。
③不用意な発言などは，速やかに電子掲示板などの管理者に連絡して削除してもらうなどの対処をする。



電子掲示板・チャット被害にあったとき

・冷静になる。
・相手の言葉尻をとらえて応酬したりすると，裁判沙汰に発展してしまうこともある。
・感情的で乱暴な言葉で反論しない。
・丁寧で理屈の通った返答をする。他の参加者に認められれば、立場が守られる可能性がある。
・状況によっては、相手の挑発に乗らず、黙ってやり過ごす。
・ひどいときは，書き込み内容の印刷物等もって警察に相談しましょう。

注意

「名誉毀損」とは「事実に反すること」を書いた時だけに適用されるものではありません。例え事実を言ったとしても，発言によって相手の社会的評価を不当に低下させた場合は、民事上の責任(損害賠償責任)を問われる可能性があります。また、場合によっては刑事上の責任(名誉毀損罪/侮辱罪)を追求される可能性もあります。

ワークシート　　年　　組　　番　名前

「書き手」としてよい点は・・・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

「書き手」としてよくない点は・・・

・

・

・

・

・

・

・

・

画面の向こう側には，人がいます。

電子掲示板やチャットの「書き手」としての注意事項やマナーは，

①

②

③

トラブルになったときは，

①

②

③

ミニ知識　電子掲示板編

☆インターネット、上にある”電子掲示板”は、意見交換・交流の場です。個人のホームページにも簡単に設置できるようになりました。 具体的には、だれかが書き込んだ内容に対してそれを見た人からレス（返事）が書き込まれ、さらにそれに対しての意見を書くなど，なんらかのテーマに沿って書き込みがつづいていきます。「掲示板」はネット上に無数に存在します。

☆チャットは、複数の人がネットワークを通じて、キーボードを使いながらリアルタイムに文章で交流をするものです。入力した文章はすぐに相手画面に表示され、それをもとに交流が進みます。チャットの，参加者は同じ時間にパソコンの前にいることになります。まさに，画面の向こうに人がいるという交流です。

ミニ用語辞典　インターネット編

チェーンメール：
主として転送を強制もしくは強く求め、内容が「いたずら」や「デマ」、あるいは「ねずみ講」であるメールすべての総称。複数人に転送を求めることで、「デマ」を拡散されることが目的と思われるものが、最近目立つようになってきている。 基本的にこの種のメールを転送すると、ネットワークに無用な負荷をかけ、世の中に無用な混乱を招くので、転送しないことがネットワークを利用する者のマナーである。真正であろうが推測であろうが、同じ内容のメールが多数やりとりされることによってネットワークに負荷が生じるのであれば、それもチェーンメールであるといえる。

チャット
パソコン通信で、リアルタイムに参加者同士が会話を行なえるようにしたサービス。「chat」には「世間話、おしゃべり」という意味がある。このチャットでは、複数の参加者が同時に会話することが可能で、１人の発言は全員にモニタされる。

Webページ
WWW（World Wide Web）サーバ上に作成された１つのページ。

ブラウザ
(1)CD-ROM やファイルの内容を一覧するためのソフトウェアの総称。
(2)インターネットの Web サーバーにアクセスして一覧するためのソフトウェア。

フリーメール
インターネットを通じて無料で提供される e-mail サービス。申し込めば無料で自分のメールアドレスを開設し、e-mail の送受信が行えるようになる。

インターネットオークション（ネットオークション）
インターネットを利用したオークション。さまざまな商品がフリーマーケット感覚で取引されており、誰でも気軽に出品／入札できるシステム。ヤフー、楽天、ビッダーズ、インフォシーク、オンセールなどが有名。一般に、入札側（買う側）は無料で参加でき、出品側（売る側）は落札後に若干の手数料を払うシステムになっている。

エスクローサービス　商品と代金の受渡しを第三者が代行するサービス。

SSL（Secure Sockets Layer）
インターネット上でプライバシーや金銭などに関する情報を、安全にやり取りするためにセキュリティ機能の付加させたて考案されたシステム。

IPアドレス
インターネットに接続されている機器ごとに割り振られた固有の番号で、データのやりとりをする場合に送り先の機器を指定するために使われる。

電子掲示板・チャット②　「情報モラル」学習指導案

1．本時の目標

・電子掲示板やチャットの「読み手」としての注意事項やマナーについて考える。

・トラブルにあったときの対処方法を知る。

2．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
1　電子掲示板やチャットの「読み手」としてよい点は何でしょうか。	・電子掲示板やチャットを「読み手」として利用してよかった，助かった点を挙げよう。	・グループで話し合わせてもよい。 ・好きなテーマについて，いろいろな他人の意見を知る，新しい情報を知ることができる（多様性），チャットはリアルタイムで交流できることに気づかせる。
2　電子掲示板やチャットの「読み手」として困ったり，不愉快に思った点は何でしょうか。	・電子掲示板やチャットを「読み手」として利用して困ったり，不愉快に思った点を挙げよう。	・匿名だから，誰がどんな立場でどんな視点で意見を書いているかわからないから，正しい情報かどうか疑わしい，質問などに安易に答える（コメント）と誤解を招くこと，実名やメールアドレスを公開されて誹謗・中傷されることに気づかせる。
3　「読み手」としての注意事項やマナーをまとめよう。	・「読み手」として，どんなことに注意して，電子掲示板やチャットを利用すべきかを考えよう。 ・正しい情報であることを確認するには，どんな方法がありますか。	・ネット上の情報は，匿名の人がつくったものであることを認識して，常にその信憑性を確認すること，また確認方法として，書籍など別の媒体を利用することに気づかせる。
4　トラブルにあったときの対処方法を考える。	・実名やメールアドレスなどを公開されて，誹謗・中傷の書き込みをされたらどうしますか。	・直ちに電子掲示板の管理人に削除を依頼する，悪質なときは警察に相談することを知らせる。

3．評価

電子掲示板やチャットの「読み手」としての注意事項やマナーを考えることができたか。また，トラブルにあったときの対処方法を知ったか。

４．板書計画

・電子掲示板やチャットの「読み手」としてのよい点は，

・好きなテーマを選ぶことができる。　・いろいろな人の意見を知ることができる。
・新しい情報を知ることができる。
・チャットについてはリアルタイムで交流できる。

・電子掲示板やチャットの「読み手」として困ったり，不愉快に思った点は，

・誰がどんな立場でどんな視点で意見を書いているのかわからない。
・正しい情報と言えるか疑わしい。新しい情報と言えるか疑わしい。
・質問などに安易に答える（コメント）ことで誤解を招きやすい。

・「読み手」としての注意事項やマナーは，

①ネット上の情報は匿名であるから，常にその信憑性を確認すること。
②確認する方法として，書籍など別の媒体を利用する，より多くの情報を集める，別の面から情報を調べる。

・実名やメールアドレスを公開されて誹謗・中傷の書き込みをされたら，

①直ちにその電子掲示板の管理人（サイトには必ずある）に削除の依頼をする。
②無視をする。応じない。また，内容が悪質なときは，相手を名誉毀損などの罪に問うことができるので，警察に相談にする。

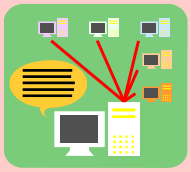
開設電子掲示板・開設チャットを荒らされた時は(ホームページ開設者へ)
あなたの開設している電子掲示板やチャットに、匿名で連続して同じ発言を書き込まれたり、アダルト画像などを貼り付けられたり、不要なリンクを張られたりした場合は、以下のような手段をとりましょう。

解決策
・問題のある発言を黙って削除し、反応しない。(感情的に反論してはいけない)
・書き込んだ人の IP アドレス等を記録し、相手が使っているプロバイダーの管理者に知らせる。
・さらにひどい時は、警察に相談する

ここで間違えてはいけないことは、「ただの荒らし」と「あなたを批判する行為」はきちんと区別することです。

掲示板を荒らす行為は、掲示板に以下のような設定をしておけば、大半のものが防げます。参考にしてください。

対策
・html のタグの使用／画像貼り付けを禁止する。
・連続した書き込みを制限する。
・禁止用語(死ね！など)を制限する。
・警察に相談する。



ワークシート　　年　組　番　名前

「読み手」としてよい点は・・・

・

・

・

・

・

「読み手」として困ったり，
不愉快に思った点は・・・

・

・

・

・

・

ネット上の情報は正しいのでしょうか？

電子掲示板やチャットの「読み手」としての注意事項やマナーは，

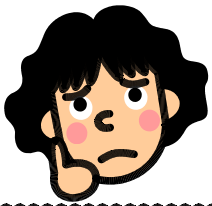
①

②

実名やメールアドレスを公開されて誹謗・中傷の書き込みをされたら，

①

②



京都府警察本部ハイテク犯罪相談窓口　０７５－４１４－０１１０
http://www.pref.kyoto.jp/fukei/

迷惑メール対策として，指定したアドレス以外からのメール受信を拒否できます。
ケータイは本体から簡単に設定が可能ですが，機種によって設定の方法が異なるので，詳しくは取扱説明書を参照にするか，各社のホームページ，またはお客様センターなどに問い合わせてください。

電子掲示板・チャット③　「情報モラル」学習指導案

1．本時の目標

・電子掲示板やチャットを利用するときに，注意しなければならないことを考える。

・誹謗・中傷の重大性と同時に自己の発言責任をしっかり認識する。

2．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
1　電子掲示板やチャットというコミュニケーションの特異性を知る。	・日常の会話というコミュニケーションとの違いは何でしょうか。	・グループで話し合わせてもよい。 ・相手の透明性・不透明性に気づかせる。
2　電子掲示板やチャットというコミニュケーションで起こる危険性を考える。	・自分の意見を書き込むときの注意は何でしょうか。 ・どんな危険性が考えられるでしょうか。	・相手が不特定多数であるという点からの危険性と，匿名性という点からの危険性に気づかせる。 ・特に興味のあるテーマについて議論が沸騰している場合を想像させて，誹謗・中傷の危険性に気づかせる。
3　誹謗・中傷の重大性と知ると同時に自己の発言責任を強く認識する。	・電子掲示板やチャットで，もし，誹謗・中傷したときの責任はどれほどのものでしょうか。	・面食らうような悪口が帰ってきたり，名指しで中傷されることに気づかせる。 ・過去の例から犯罪に問われることがあることを知らせる。 ・発言責任を強く認識させる。

3．評価

電子掲示板やチャットを利用するときに，注意することを考えることができたか。

誹謗・中傷の重大性を通じて，発言責任についてしっかり認識することができたか。

４．板書計画

・電子掲示板やチャットと日常の会話との違いは，

電子掲示板やチャットは，相手が不特定であったり，特定しても相手の顔が見えない不透明なコミュニケーション。（相手以外の他人も読んでいる危険性が常にあります。）
日常の会話は，特定の相手の顔を見ながらする透明なコミュニケーション。

・電子掲示板やチャットというコミュニケーションで起こる危険性とは，

・相手の顔や立場，気持ちが見えないから，知らず知らずのうちに相手を傷つけてしまっているかもしれない。
・自分の考えている相手以外の不特定多数の人が見たり読んだりしている危険性がある。
・興味があるテーマについて議論が沸騰しているときには，冷静さを失い，相手を誹謗・中傷する発言になりやすい。
・送った内容に対して，面食らうような悪口が返ってきたり，名指しで中傷されることもある。
・いやがらせや，おもしろ半分で電子掲示板やチャットで他人の個人情報を書き込んだで訴えられた例もあります。
・電子掲示板やチャットで親しくなって，不用意に相手を信用して自分の住所や名前電話番号などを知らせたために，ストーカー行為にあって困った例もあります。

・相手を誹謗・中傷したときの責任は，

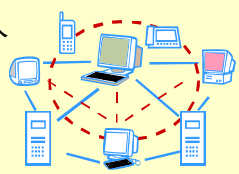
二つの例は共に１５歳の少年によるものでした。二人とも脅迫の容疑で逮捕されました。

名誉毀損罪・侮辱罪・脅迫罪で訴えられる場合がある。誰かと口論になっていたり，非難されているようなときは，まずこちらから誤解を取り除くために先に誤ってしまうことが有効である。

インターネットミニ知識

社会的評価（世評・名声）を低下させるような情報をホームページに掲載，電子掲示板・チャット等に書き込みをなどすると、民事上の責任（損害賠償責任）を問われる可能性があり、場合によっては刑事上の責任（名誉毀損罪・信用毀損罪・侮辱罪・業務妨害罪）を追求される可能性もあります。

誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう）とは、根拠のない悪口で他人の名誉を汚し、貶（おとし）めることをいう。
「誹謗」＝他人をけなすこと。
「中傷」＝根拠もなく悪口を言うこと。



ワークシート　　年　組　番　名前

電子掲示板やチャットと日常の会話との違いは，

・電子掲示板やチャットは，

コミュニケーションである。

・日常の会話は，

コミュニケーションである。

電子掲示板やチャットというコミュニケーションで起こる危険性とは，

・

・

・

例　（ある中学校を名指しして）今週中に生徒を無差別に殺します。気分次第ではすれ違った人も殺します。

例　今週の日曜日（ある町を名指しして）の郵便局に討ち入りしたいと思います。

相手を誹謗・中傷したときの責任は，

罪，　　罪，　　罪で訴えられる場合がある

１台１台のパソコンには，ＩＰアドレスと呼ばれる「住所」のようなものが割り振られています。電子掲示板に書き込むとき，そのＩＰや発信時刻などの情報はサイトの管理者の元に記録されるので，必要があれば警察はその開示を求めることができます。だから犯人がわかります。

自分の発言には＿＿＿＿＿＿をしっかり持つこと

インターネットによる「情報モラル」学習　学習計画　Web ページ編

	指導内容	指導上の留意点
①	**Web ページを使って，情報収集するためにどんなことに注意をすればよいか考えてみよう。** Web ページの内容については，正確であるか，新しいものであるかなど，各人が責任を持つことになっている。そこで，受ける側としてどのようにして確認すればよいか，どんな点に注意すればよいかなど，注意事項やモラルを指導する。また，トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。 （有害ページ・有料ページ・出会い系サイト・内容の真偽確認・自己責任）	○Webページを利用するときは，内容の真偽を確かめてから利用することを指導する。 ○有料か？無料か？がわかりにくいページがたくさんあります。有料ページの利用は内容を確認してから利用することを指導する。 ○個人情報の流出,高額な利用料金の請求,麻薬などの違法物品の入手などの被害を指導する。 ○有料ページや有害ページなど，目的意識が弱く，興味本位の利用や誘惑に負けて利用しないように指導する。 ○被害にあわないためには，相手にしない（無視する）ことを指導する。
②	**Web ページを作成する上の注意しなければならないことは，何かを考えてみよう。** Web ページは，見るものが内容を見極め，判断することが求められていますが，作る側の責任やモラルや著作権・肖像権・個人情報などを指導する。また，トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。 （発信責任・誹謗・中傷・個人情報・肖像権・著作権・ストーカー行為・フリーメール）	○ホームページ作成においては，写真や絵など，著作権に配慮をしよう。著作権や肖像権を侵したために，思わぬ罪に問われることになるので注意することを指導する。 ○自己紹介などで，詳しく書き公開してしまうと，思わぬ被害（ストーカー・いたずら電話など）に遭うことになるので，個人情報の扱いには十分注意することを指導する。 ○他の人を誹謗中傷するようなことやプライバシーを侵すようなことがないように注意することを指導する。 ○フリーメールについても指導する。

ミニ知識　Ｗｅｂページ編

☆多くの企業が，自社の内容や宣伝を載せたり，学校が自校の紹介をしたりするホームページをもっているのは普通になってきました。
☆個人のホームページについてみれば，インターネット上で簡単に作れるようになったサイトがあったり，簡単に作れるソフトウェアがやすく出回ったりして，ホームページを持つ人も年々増えてきました。ホームページをもつということになって，これまでは情報を受け取るだけだったのが、今度情報を発信する側になったということを意味しています。
☆インターネットの世界では，開設したホームページは世界中の人が見ることができます。そのため発信する情報の内容に気をつけないと他人を傷つけたり、著作権や肖像権などを犯してしまうような事も起こります。また、自分自身の情報についても，詳しく書き公開してしまうと，思わぬ被害に遭うことになります。
☆ 掲載するアドレスは通常使っているものではなく，だれでも簡単に取得や破棄できる「フリーメール」のものをホームページ専用として利用する。いざというとき容易にアドレスの変更ができます。「フリーメール」には特定アドレスからのメールの受信を拒否することができます。

Web ページ①　「情報モラル」学習指導案

1．本時の目標

・Web ページを使って，情報収集するためにどんなことに注意すればよいか考える。

・有料ページや有害ページで被害にあったときの例を知り，被害にあわないための対処方法を知る。

2．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
1　Web ページはどんなときに利用するかを考える。	・今までに Web ページをどんなときに利用したか考えよう。	・Web ページは目的を持って利用することに気づかせる。
2　Web ページを利用していて，予期せぬ驚く情報（有料ページや有害ページ）に出会ったときのことを考える。	・有料ページや有害ページにはどのようなものがありますか。 ・どんな被害が考えられますか。	・有料ページや有料ページの例を挙げる。 ・個人情報の流出，高額な利用料金の請求，本当に実行してしまう可能性，麻薬などの違法物品の入手などの被害に気づかせる。
3　Web ページを利用するときに注意することを考える	・どんなときに被害にあいやすいか考えよう。 ・高額料金の請求には，どうしますか。 ・出会い系サイトを利用して，被害にあったらどうしますか ・有料ページや有害ページで被害にあわないためには，どのように対処するべきでしょうか。	・目的意識が弱く，興味本位の利用のときに誘惑に負けて被害にあいやすいことに気づかせる。 ・被害にあってからは遅いことを知り，あわないための予防の大切さを知る。 ・被害にあわないためには，相手にしない（無視する）ことに気づかせて，予防としてパソコンを「フィルタリング」する方法があることを知らせる。

3．評価

Web ページの利用するときに注意することが考えられたか。有料ページや有害ページで被害にあわないための対処方法を考えられたか。

４．板書計画

・Web ページをどんなときに利用したか

ある事柄について調べる場合，新しい情報を知りたい，たくさんの情報を知りたい，早く知りたい，など　目的がしっかりあって利用する。

・有料ページや有害ページとは，

出会い系サイト，アダルトサイト，自殺系サイト，薬物や爆発物に関するサイト，ファイル交換ソフト，ネットショッピング，ネットオークションなど。

・考えられる被害とは，

誘拐などの凶悪犯罪の被害，個人情報の流出，高額な利用料金の請求，本当に実行してしまう可能性，麻薬などの違法物品の入手，著作権侵害の罪，親のクレジット番号の流出，詐欺被害や売買トラブルなど。

・被害にあいやすいときは，

目的意識が弱く，興味本位で利用しているときに誘惑に負けてしまう。

・Web ページを利用するときの注意は，有料ページや有害ページの被害にあわないためには，

①目的をきちんと持って，本当に必要な情報かを考えて，ちょっと先のことを考えて利用する。
②被害にあわないためには，相手にしない（無視する）こと。
③パソコンやケータイを「フィルタリング」する 。

・被害にあったときは（法外な通信料の請求等）

①自分一人で解決しようとせず，保護者や先生に必ず相談しよう。
②保護者や先生を通して，関係に機関相談しよう。
（警察の生活安全課・京都市消費者センター　０７５－２５６－０８００）

ワークシート　　年　組　番　名前

有料ページ，有害ページとは・・	考えられる被害は・・・
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

例　A君は，興味あるゲームの Web ページで会員募集のお知らせがあり，どうやら会員になるとゲームの最新情報が手に入ると書いてありました。そこで，何の戸惑いもなく名前，住所，電話番号の個人情報を登録してしまいました。それから，A君の自宅には，セールスを目的にしたダイレクトメールや勧誘電話わいせつな画像を含むいたずらメールがしつこく送られるようになりました。

・Web ページを利用するときの注意は・・・被害にあわないためには・・・

①

②

③

「フィルタリング」とは，不適切なサイトやページを見られなくする方法です。
契約プロバイダのホームページなどで確認してください。専用のソフトも市販されています。またインターネットを利用するのに，ほとんどの家庭で使われている Ｉｎｔｅｒｎｅｔ　Ｅｘｐｌｏｒｅｒ自体にもフィルタリング機能があります。
ケータイは，各社が提供しているアクセス制限機能を利用してフィルタリングを行うことができます。無料です。

ＷＥＢページ②　「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・ＷＥＢページを開設（作成）するときに，注意しなければならないことを考える。

・開設（作成）したときに起こる問題を正しく理解し，被害について考える。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　よいＷＥＢページとは何かを考える。	・今までに使ったＷＥＢページでよかったものは，どんなものでしょうか。	・見る人の気持ちを考えさせながら話し合わせる。 ・正しい情報，信頼性に気づかせる。
２　ＷＥＢページを開設（作成）するとき，どんなことに注意しなければならないか。	・見る人が楽しい気持ち，不愉快な気持ちにならない視点から考えよう。 ・世界中の人が見ているという視点から考えよう。 ・一度流してしまうと，戻れないという視点から考えよう。	・誹謗・中傷しないように発言責任に気づかせる。 ・個人情報の流出による被害に気づかせる。 ・写真や文の掲載の著作権肖像権の問題に気づかせる。
３　ＷＥＢページを開設（作成）したときに起こる問題や被害を考えて，その対処方法を知る。	・個人情報の流出による被害について考えよう。 ・メールストーカーの対処方法はどうすればよいか。 ・写真や文の掲載について考えてみよう。 ・著作権や肖像権を侵害しないためには，どうすればよいでしょうか。	・メールストーカー，ストーカー行為の危険性に気づかせる。 ・著作権や肖像権を正しく理解させる。 ・よいＷＥＢページを作成することは，自分も相手も大切にしていることに気づかせる。

３．評価

ＷＥＢページを開設（作成）するときに，どんなことに注意するかを考えられたか。

また，開設（作成）したときに起こる被害について考えて，その対処方法を知ったか。

４．板書計画

・よいＷＥＢページとは，

正しい情報であること。信頼性があること。

・ＷＥＢページを開設（作成）するときに注意することは，

①誹謗・中傷しないように発言責任がある
②個人情報の流出に注意する
③写真や文の掲載には著作権や肖像権の問題があるので注意する

・開設（作成）したときに起こる被害とは，

①誹謗・中傷の責任問題
②メールストーカー，ストーカー行為の被害
③著作権や肖像権の侵害

・メールストーカーの危険にあわないために，

掲載するアドレスは通常使っているものではなく，だれでも簡単に取得や破棄できる「フリーメール」のものをホームページ専用として利用する。いざというとき容易にアドレスの変更ができます。「フリーメール」には特定アドレスからのメールの受信を拒否することができます。

・著作権や肖像権を侵害しないためには，

要は「他人のものを無断で使用することはできない」です。他人の著作物や，第三者（たとえ親しい人でも）の写真などを掲載するときは許可を受けましょう。また，自分のホームページのデザインになにかを「参考」にしたり，どこからか文章を「引用」することに問題はありません。ただし､引用の場合には，引用であることが明確にわかるようにして，必ず出典を明記してください。

「フリーメール」とは・・・

プロバイダから提供されるパソコンのメールアドレスとは別にメールアドレスを無料でもてるサービスのことで，簡単な登録だけでだれでも取得することができます。一人で数個のアドレスを取得することも可能で，万一のときでもすぐに新しいアドレスに変えることができます。

「著作権の侵害」とは・・・

アニメや・マンガなどのキャラクターなどの無断使用，市販の写真集からの流用，新聞・雑誌・書籍などの記事や写真，イラストの流用，他人のつくった地図の無断使用，他人のホームページのデザインを真似することです。

「肖像権の侵害」とは・・・

たまたまいっしょに写っていたからと親戚や友だちの写真を無断で載せてしまうことです。さらに名前などを勝手に載せてしまうと「プライバシーの侵害」です。

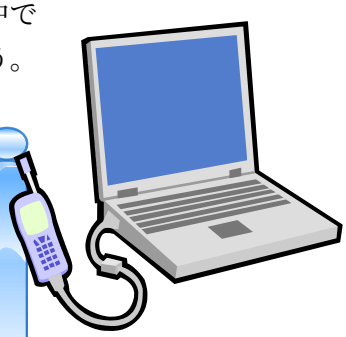
参考ホームページ

・教師のための　著作権Ｑ＆Ａ　www.japet.or.jp/ideaqa/
　著作権について，Ｑ＆Ａ方式で解説されています。

・肖像権　Ｑ＆Ａ　www.jame.or.jp/syozoken/
　ホームページを作るときに，有名人や俳優の写真などの扱い等について解説されています。

・ネット社会の歩き方
　www.net-walking.net/gaku-unit-v031/index.htm
　個人情報の保護や，誹謗中傷などトラブルなどをアニメーションで解説がされています。

インターネット上には，様々なサイトが存在します。その中で有効なサイトの情報を積極的に調べたりするようにしましょう。



肖像権や著作権等は，日本の国内だけの法律ではありません間違った理解をすると，多くの外国の企業や個人から訴えられるかもしれません。少なくとも，国内の法に抵触しないように知識をつけておきましょう。

ワークシート　　年　組　番　名前

例　クラスで地域の紹介をすることになり，A子さんはお店紹介をしようといろいろな人に近所のお店の裏話を聞いて集めました。その中に「今，衛生的で有名な○○寿司店は 10 年前に食中毒を出したが，その後は衛生に気を配り今のようなお店を作った」ということを記事にしてホームページにまとめました。数日後，○○寿司店から学校に抗議の電話があり，店のお客さんが減ってしまうので，すぐに訂正してほしいとの要望がありました。

例　人気アイドル歌手と同姓同名のＣさんの学校では，授業でＷＥＢページを作成することになりました。Ｃさんは自己紹介と趣味のお菓子作りについてのページを作成し，インターネット上に登録しました。その数日後から，不審な男を校門の所で見かけるようになりました。どうやらその男は，他の生徒に声をかけて，Ｃさんを探しているようです。

例　A子さんは，初めて自分のホームページを作りました。早速，友達に宣伝したところ「A子のホームページは文章しか書いてないからつまらない」という感想しかもらえませんでした。そこで，雑誌からタレントの写真やキャラクターの画像をスキャナーで取り込み，貼りつけました。その後，友達からは好評でしたが，ある日知らない人から次のような電子メールが届きました。「あなたのホームページは，大変楽しいですが，タレントの写真は許可を受けましたか？受けてないなら法律違反ですよ」A子さんは，すっかり不安になりました。

・ＷＥＢページを開設（作成）するときに注意することは，

①　　②

③

・メールストーカーの危険にあわないために，

・著作権・肖像権を侵害しないためには，

よいＷＥＢページとは，＿＿＿＿も＿＿＿＿も大切にしている

インターネットによる「情報モラル」学習　学習計画　　ネット売買編

	指導内容	指導上の留意点
①	**ネットショッピングや，ネットオークションを利用する上での注意事項を考えてみよう。** 安心して購入したり，ネットショップを開設するためのネット上での売買についての注意事項やマナーを指導する。また，トラブルにあったとき，どのようにすればよいかを話し合わせたり，考えさせたりして，正しい解決の方法を指導する。	○ネットオークションでは，怪しいと思ったら詐欺に遭わないためにも，絶対に入札や落札をしないように指導する。また，相手にメールを送ったり，固定電話で相手を十分確認をするように指導する。 ○ネットショッピングでは，現金のやりとりがないために，不要な物品の注文や，過剰注文などをしないために，計画的な購入を指導する。 ○注文に際して，個人情報を入力するときは，安全性を確かめてから入力するように指導する。 ○国民生活センター（ホームページで全国一覧表がある）等で事前に情報を確認しておくておくなど賢い消費者なるための指導をする。 ○トラブルになっても，自分一人で判断せずに親や先生，警察等関係機関に相談することを知らせる。

ミニ知識　ネット売買編

☆ネットオークションでは，オークションのWebページに出品された品物に対して，Webページ上の写真や説明を見てそれを買いたいと思う人が，自分が買うことのできる金額を登録（入札）し、Webページ上で値段を競い合って一番高い値をつけた人が買うことができる（落札）というものです。Web ページ上での取引のため，お金を送ったけれども落札した品物が届かない，また，その逆の落札されてものを送ったけれどもお金を払ってくれないなど，売り手，買い手のトラブルがたくさんあります。
☆ネットショッピングとは以前からある通信販売の一つで，Web ページのカタログを見て欲しい品をネットを使いパソコンの前から注文をします。大手のデパートをはじめ、いまは多くの店がネットでのショッピングに対応しています。
☆ネットショッピングが便利ですが，現金のやりとりがないために，注文のしすぎや，注文の際に登録した個人情報が盗まれてしまうなどの危険も潜んでいます。

身に覚えのない料金の請求

予防策

身に覚えのない請求には一切応じないこと。また、不用意に相手と連絡をとると、個人情報を知らせることになり無用なトラブルを招くことにもつながります。

ネットオークションでの詐欺

予防策

1.トラブルに関しては、何よりも予防に徹するのが第一です。
・エスクローサービスやまたは代金引替を利用する。
2.以下の場合は取引をやめる方が無難です。
・メールアドレスがＷｅｂメール（フリーメールサービス）のものしかない。
・電子メール以外に直接連絡する方法がない
・電話番号が携帯電話のものしかない。
・電話で話をしたが、応対が不誠実で信頼できない。

「危険性」は自己の責任で負うことになります。

ネット売買①　「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

・ネットショッピングや，ネットオークションを利用する上での注意事項を考える。

・トラブルにあったときの対処方法を知る。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
１　ネットショッピングとネットオークションを知る。	・ネットショッピングとネットオークションの違いを知っていますか。	・実際に利用している生徒もいると思われるので、発表させながら知識を全員に持たせる。 ・利便性についても触れる。
２　ネットショッピングとネットオークションの問題点を知る。	・どんなトラブルが考えられますか。	・グループで話し合わせてもよい。 ・詐欺被害や売買トラブル，違法物品（麻薬）の入手，個人情報の流出，親のクレジットカード番号の流出などに気づかせる。
３　安心して購入する方法やネットショップを開設する方法を知る。	・どんなことに注意して利用すればよいでしょうか。	・利用している生徒に，注意していることを発表させてもよい。 ・賢い消費者になることに気づかせる。
４　トラブルにあったときの正しい解決の方法を知る。	・トラブルにあったとき，どうしますか。	・自分一人で判断せずに親や先生，警察に相談することを知らせる。 ・国民生活センター（ホームページで全国一覧表がある）の存在を知らせる。

３．評価

ネットショッピングやネットオークションの正しい知識を持って，利用する上での注意事項を考えたか。またトラブルにあったときの正しい解決方法を知ったか。

４．板書計画

・ネットショッピングとは,

通信販売に一種。商品を選ぶのも注文もすべてネットを使いパソコンの前からできる

・ネットオークションとは,

出品されたものに対してそれを買いたいと思う人が金額を登録し，一番高い値を付けた人が落札（買う）ことができるというオークション

・利便性は,

①他の店や商品との比較が容易なこと。
②あちこちの店を見て歩いたり，カタログを何冊も取り寄せる必要がなく，パソコンの画面一つで気に入った商品を選べること。

・問題点は,

①注文の際に登録した個人情報が盗まれる。
②売買トラブル（代金を振り込んだのに商品が届かない，届いた商品が違うものだったり偽物だったり壊れていた，相手が返品に応じない，送料の分担が約束と違う，商品を送ったのに代金の振り込みがない）
③違法なものの出品や入手。
④オークションを利用して盗品を売りさばくなどの問題。
⑤親のクレジットカード番号の流出。

・賢い消費者とは,

①未成年の間は，保護者といっしょに利用する。
②ＳＳＬ（セキュア・ソケット・レイヤー）で保護されたページであることを確認して送信する。
③出品者の「評価」をしっかり確認する。
④「エスクローサービス」を利用する。

・トラブルにあったときの解決方法とは,

①自分一人で判断せずに親や先生，警察に相談する
（京都府警ハイテク犯罪相談窓口　075 － 414 － 0110　http.//www.pref.kyoto.jp/fukei/　）
②国民生活センターへ相談する。ホームページに全国の一覧表がある。

５．資料

例　Ａ君は，インターネットショッピングで「有名ブランドのテニスシューズを格安の２０００円で売ります」という情報を見つけ，購入しました。申込代金を指定した銀行口座に振り込んだところ，本物に似せた偽物が送られてきました。商品を返品しようにも，相手の住所がでたらめで連絡がとれず，クレームメールを出しましたが，全く返事もきません。

例　インターネットオークションを利用して現金をだまし取ったとして，岡山・京都新潟の３府県警は無職，・・・・（２７歳）を詐欺の容疑で逮捕した。調べでは，容疑者は○月○日，商品を発送するつもりがないのに，検索サイト大手の○○のインターネットオークションサイトに「最新型パソコン，未開封」などと出品して購入者を募り，落札した男性社員に「代金を支払えばパソコンを発送する」と，うその内容のメールを発信。翌日，自分の口座に現金２２万１０００円を振り込ませ，だました疑い、被害総額は，１２都府県２２人の約２６０万円に上がるとみられ，３府県警が裏付け捜査を急いでいる。

例　Ｃさんは，インターネットでウィンドウショッピングをするのが大好きです。あるとき，前からほしかった服がインターネットで買えることを知りました。いつもなら見ているだけで満足していたのですが，この服だけは，欲しくて欲しくて仕方がなかったのです。そこで，無断で母親の名前とクレジットカード番号を使って購入の申込をしてしまいました。数日後，商品が届きましたが，Ｃさんは家族には黙って受け取りました。月末に，クレジットカード会社からの請求を見た母親は，身に覚えのない請求に驚き，カード会社に連絡をして大騒ぎになりました。

「評価」の低い出品者との取引は避ける・・・

相手のことを知るために大事なことが「評価」です。その出品者と過去に取引をしたことのある人によって，取引でのトラブルの有無などが表示されます。高い評価が多数つけられていれば安心してよいということになりますが，逆に評価の低い出品者や新規の出品者には注意が必要です。とくに評価の低い場合は取引をやめましょう。

第三者の仲介で確実な「エスクローサービス」とは・・・

オークションを主催しているサイトではなく第三者企業によるサービスで，商品の発送と代金の回収を責任を持って仲介してくれます。これを利用すれば，高額な商品でも詐欺やトラブルの心配なく取引ができます。さらに，商品を受け取らない限り相手に代金が支払われることがないので，届いた商品が違っていたなどの返品に関するトラブルも防ぐことができます。ただし，手数料（数百円程度）と時間がかかります。

ワークシート

年　　組　　番　名前

ネットショッピングとは・・・

ネットオークションとは・・・

どんな問題点があるか

①

②

③

④

⑤

賢い消費者とは,

①

②

③

④

トラブルにあったときの解決方法とは,

①

②

京都府警ハイテク犯罪相談窓口　075 － 414 － 0110　http.//www.pref.kyoto.jp/fukei/